

第1次那須塩原市総合計画

検証結果報告書

平成28年3月

那須塩原市 企画政策課

目 次

1 はじめに

- (1)調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2)総合計画の体系・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

2 市民アンケート調査結果から見る傾向

- (1)「市政・まちづくりへの満足度」と「市への愛着度」の推移・・・・・・・・ 2
- (2)基本施策の「満足度」と「重要度」・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 - ①満足度と重要度の数値化について
 - ②平成 27 年度調査結果における満足度と重要度について
 - ③満足度と重要度の散布図について
 - ④満足度と重要度の傾向について
- (3)第 1 次総合計画後期基本計画における目標指標（市民満足度）の達成状況・・・・・・・・ 10
- (4)まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
 - ①基本政策 1 自然と共生するまちづくり
 - ②基本政策 2 快適で潤いのあるまちづくり
 - ③基本政策 3 健やかで安心して暮らせるまちづくり
 - ④基本政策 4 安全で便利なまちづくり
 - ⑤基本政策 5 活力を創出するまちづくり
 - ⑥基本政策 6 豊かな心と文化を育むまちづくり
 - ⑦基本政策 7 創意と協働によるまちづくり

3 第 1 次総合計画後期基本計画の達成状況

- (1)調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
 - ①調査対象項目
 - ②評価の基準日
 - ③評価の方法
- (2)達成状況一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
 - ①基本施策
 - ②主要事業

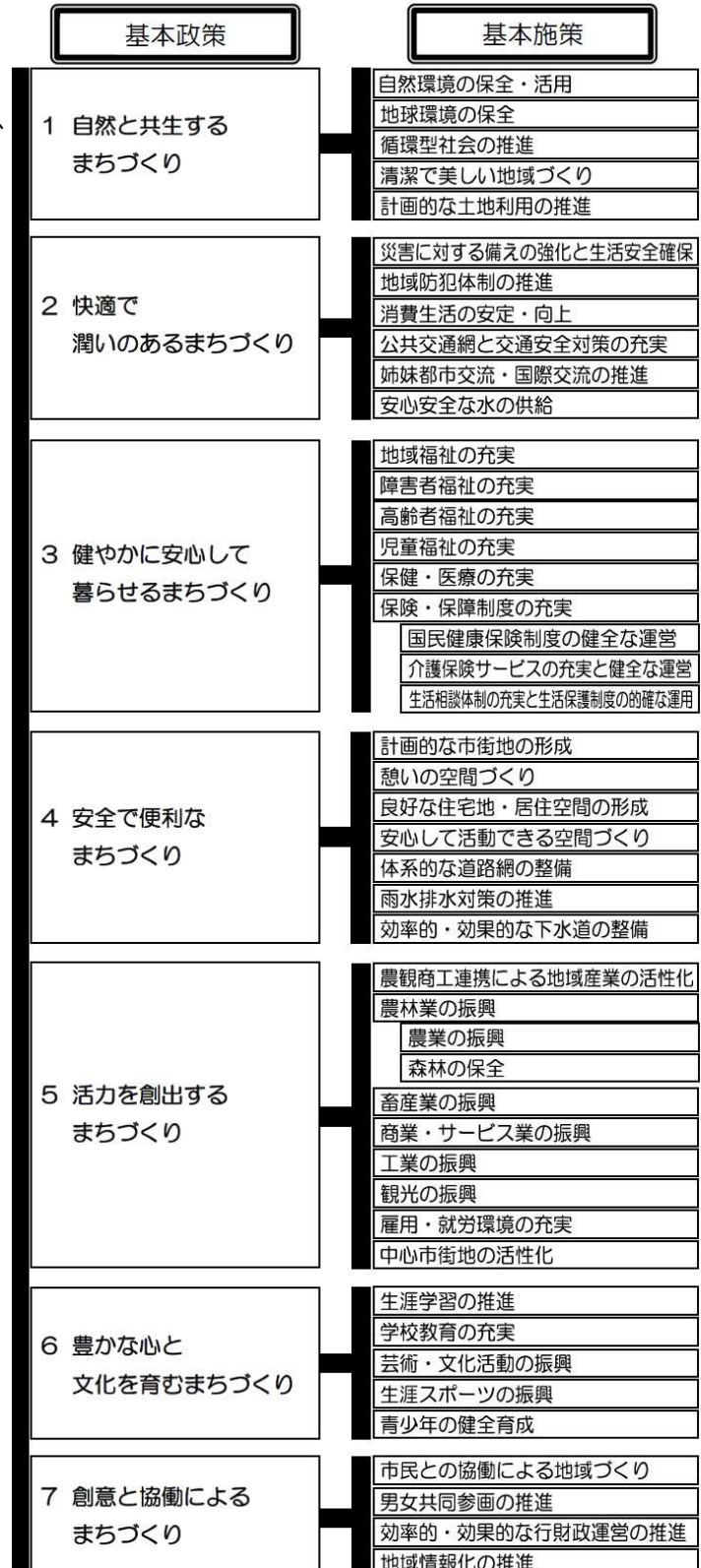
1 はじめに

(1)調査の目的

この調査は、「第1次那須塩原市総合計画後期基本計画」（平成24年度～平成28年度）に関する市民満足度などの比較や、目標指標の達成状況及び主要事業の進捗状況点検などを行うことで、後期基本計画を検証・評価し、次期総合計画策定のための基礎資料として活用することを目的として実施しました。

(2)総合計画の体系

調査の対象は、後期基本計画における7つの基本政策と、41の基本施策であり、その体系図は右図のとおりです。

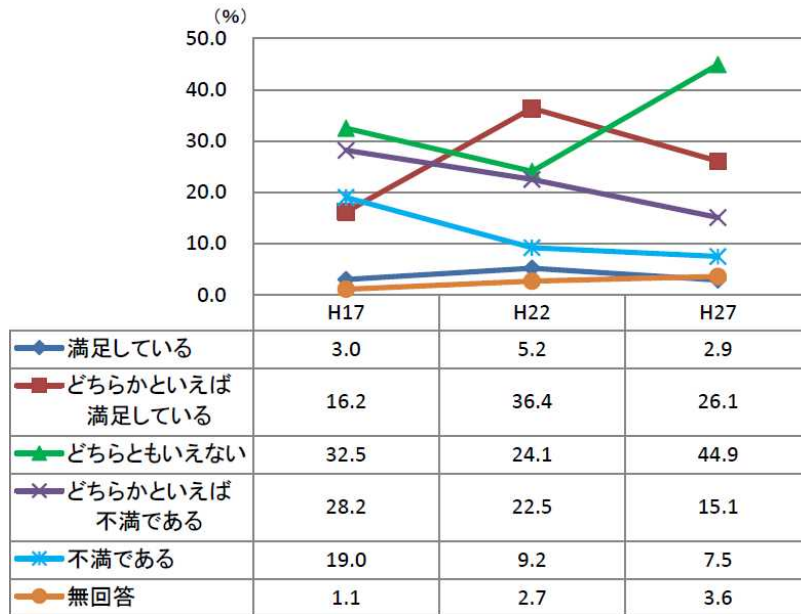


2 市民アンケート調査結果から見る傾向

(1)「市政・まちづくりへの満足度」と「市への愛着度」の推移

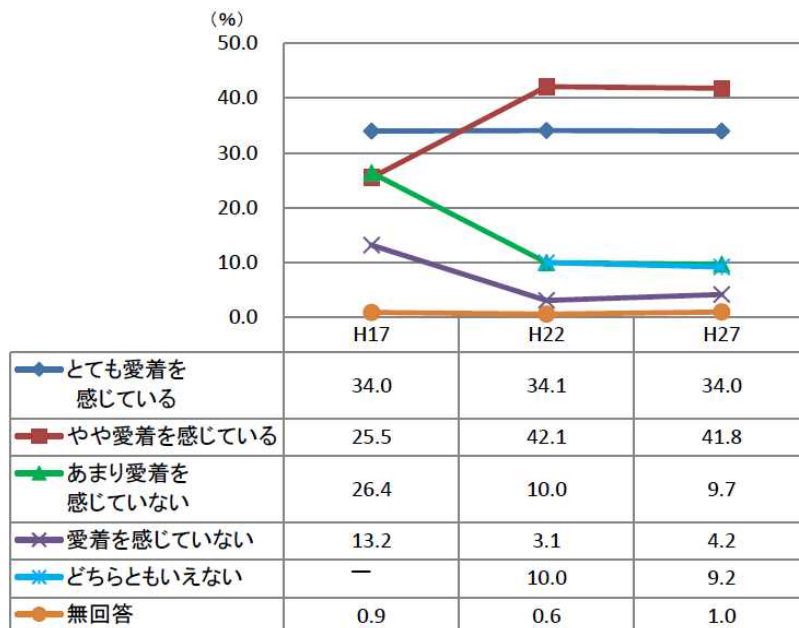
第1次総合計画期間内における「市政・まちづくりへの満足度」に関する調査結果を比較すると、「どちらかといえば不満である」及び「不満である」の割合は減少傾向にあります。一方、平成22年と平成27年の調査を比較すると、「どちらかといえば満足している」の割合が減少し、「どちらともいえない」の割合が上昇しています。

市政・まちづくりへの満足度



また、第1次総合計画期間内における「市への愛着度」に関する調査結果を比較すると、「とても愛着を感じている」の割合はほぼ横ばいですが、「やや愛着を感じている」の割合は平成17年の調査から上昇しています。

市への愛着度



(2)基本施策の「満足度」と「重要度」

①満足度と重要度の数値化について

基本施策における満足度と重要度の5段階評価の回答結果に基づき、「満足している（重要である）」100点、「やや満足している（やや重要である）」75点、「どちらともいえない」50点、「やや不満である（あまり重要ではない）」25点、「不満である（重要でない）」0点としたときの全回答者の平均得点を求めます。

数値が大きければ満足度（重要度）は高く、小さければ満足度（重要度）は低くなります。

【満足度と重要度の相対比較】

満足度	点数
満足している	100
やや満足している	75
どちらともいえない	50
やや不満である	25
不満である	0

重要度	点数
重要である	100
やや重要である	75
どちらともいえない	50
あまり重要ではない	25
重要ではない	0

②平成 27 年度調査結果における満足度と重要度について

平成 27 年度の調査結果を前述の方法で数値化すると、以下のとおりとなります。

基本政策	基本施策	満足度	順位	重要度	順位
まちづくり 自然と共生する	1-①自然環境の保全・活用	57.9	4	79.7	12
	1-②地球環境の保全	50.8	23	80.1	9
	1-③循環型社会の推進	63.0	2	84.1	5
	1-④清潔で美しい地域づくり	48.6	30	84.9	2
	1-⑤計画的な土地利用の推進	44.1	40	70.9	26
まちづくり 快適で潤いのある	2-①災害に対する備えの強化と生活安全確保	51.5	21	84.8	3
	2-②地域防犯体制の推進	53.4	8	81.0	8
	2-③消費生活の安定・向上	50.7	25	64.6	37
	2-④公共交通網と交通安全対策の充実	47.5	35	73.2	21
	2-⑤姉妹都市交流・国際交流の促進	51.8	19	54.0	41
	2-⑥安心安全な水の供給	65.4	1	87.3	1
まちづくり 健やかに安心して暮らす	3-①地域福祉の充実	53.4	9	77.2	15
	3-②障害者福祉の充実	52.0	18	78.3	13
	3-③高齢者福祉の充実	52.3	14	79.7	11
	3-④児童福祉の充実	50.7	24	83.2	6
	3-⑤保健・医療の充実	60.2	3	84.2	4
	3-⑥保険・保障制度の充実	52.3	13	81.3	7
まちづくり 安全で便利な	4-①計画的な市街地の形成	46.6	36	74.2	20
	4-②憩いの空間づくり	54.5	5	69.4	31
	4-③良好な住宅地・居住空間の形成	50.0	27	66.1	34
	4-④安心して活動できる空間づくり	52.5	11	71.7	23
	4-⑤体系的な道路網の整備	48.5	31	76.7	17
	4-⑥雨水排水対策の推進	52.0	17	76.8	16
	4-⑦効率的・効果的な下水道の整備	53.5	7	77.5	14
まちづくり 活力を創出する	5-①農観商工連携による地域産業の活性化	48.3	32	67.9	33
	5-②農林業の振興	48.2	33	71.2	24
	5-③畜産業の振興	52.3	15	69.5	30
	5-④商業・サービス業の振興	46.5	37	65.3	36
	5-⑤工業の振興	44.7	38	70.3	28
	5-⑥観光の振興	49.0	29	72.3	22
	5-⑦雇用・就労環境の充実	44.6	39	76.0	18
	5-⑧中心市街地の活性化	41.6	41	71.1	25
まちづくり 豊かな心と文化を育む	6-①生涯学習の推進	53.5	6	69.6	29
	6-②学校教育の充実	52.3	16	79.9	10
	6-③芸術・文化活動の振興	51.7	20	63.9	38
	6-④生涯スポーツの振興	53.2	10	63.2	39
	6-⑤青少年の健全育成	52.4	12	74.6	19
まちづくり 創意と協働に	7-①市民との協働による地域づくり	51.4	22	65.7	35
	7-②男女共同参画の推進	50.4	26	62.7	40
	7-③効率的・効果的な行財政運営の推進	47.9	34	70.6	27
	7-④地域情報化の推進	49.8	28	69.4	32

全体平均

51.3

73.8

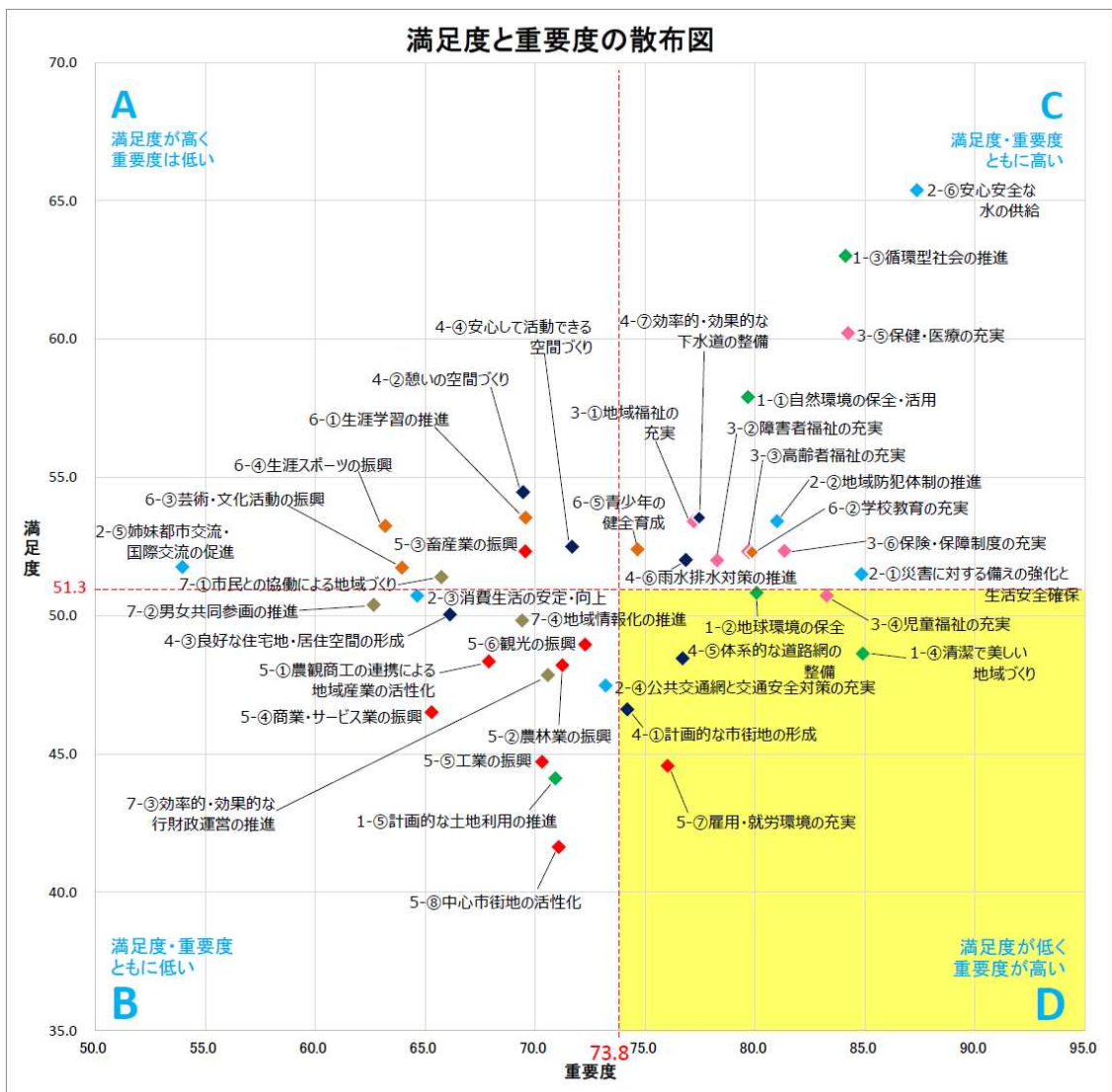
③満足度と重要度の散布図について

②の数値を基に縦軸に満足度、横軸に重要度をとった散布図を作成し、各施策がどの領域に入るかにより、施策の今後の方向性を判断します。各領域の方向性は以下のとおりです。

<p>領域A（満足度：高い、重要度：低い） 【方向性：現状維持・効率化施策】 満足度が高いため、現状水準を維持しつつ、重要度が低いため、効率化について検討していく。</p>	<p>領域C（満足度：高い、重要度：高い） 【方向性：重点維持施策】 おおむね満足しているが、重要度も高いため、引き続き現在の施策を維持していく。</p>
<p>領域B（満足度：低い、重要度：低い） 【方向性：検討施策】 施策の必要性や内容について検討をし、施策の改善を図る。</p>	<p>領域D（満足度：低い、重要度：高い） 【方向性：優先改善施策】 施策の重要度は高いが満足していない現状であり、満足度を向上させるために優先的に施策の改善・充実を図る。</p>

※市民アンケートでは、生活に直結する福祉や雇用等の分野において重要度が高くなる傾向があり、その一方、関わりが薄い分野は重要度が低くなる傾向があります。

◆平成 27 年度調査結果における「満足度」と「重要度」の散布図



※分布図上の点線は、満足度と重要度の全体平均を表しています。

領域 A（満足度が高く、重要度は低い）に該当する施策：現状維持・効率化施策

2-⑤姉妹都市交流・国際交流の促進	4-②憩いの空間づくり
4-④安心して活動できる空間づくり	5-③畜産業の振興
6-①生涯学習の推進	6-③芸術・文化活動の振興
6-④生涯スポーツの振興	7-①市民との協働による地域づくり

領域 B（満足度・重要度ともに低い）に該当する施策：検討施策

1-⑤計画的な土地利用の推進	2-③消費生活の安定・向上
2-④公共交通網と交通安全対策の充実	4-③良好な住宅地・居住空間の形成
5-①農観商工連携による地域産業の活性化	5-②農林業の振興
5-④商業・サービス業の振興	5-⑤工業の振興
5-⑥観光の振興	5-⑧中心市街地の活性化
7-②男女共同参画の推進	7-③効率的・効果的な行財政運営の推進
7-④地域情報化の推進	

領域 C（満足度・重要度ともに高い）に該当する施策：重点維持施策

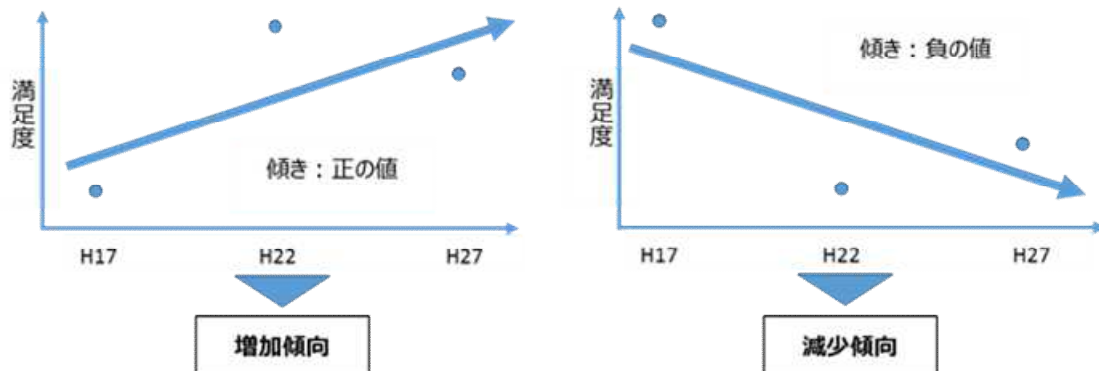
1-①自然環境の保全・活用	1-③循環型社会の推進
2-①災害に対する備えの強化と生活安全確保	2-②地域防犯体制の推進
2-⑥安心安全な水の供給	3-①地域福祉の充実
3-②障害者福祉の充実	3-③高齢者福祉の充実
3-⑤保健・医療の充実	3-⑥保険・保障制度の充実
4-⑥雨水排水対策の推進	4-⑦効率的・効果的な下水道の整備
6-②学校教育の充実	6-⑤青少年の健全育成

領域 D（満足度が低く、重要度が高い）に該当する施策：優先改善施策

1-②地球環境の保全	1-④清潔で美しい地域づくり
3-④児童福祉の充実	4-①計画的な市街地の形成
4-⑤体系的な道路網の整備	5-⑦雇用・就労環境の充実

④満足度と重要度の傾向について

年度ごとの満足度を時系列でプロットし、その近似直線の傾きを求めます。傾きが正の場合は、その施策の満足度は増加傾向にあり、負の場合はその施策の満足度は減少傾向にあると判断できます。



各領域の方向性に満足度の経年推移の視点を加えると、以下の表のような考え方ができます。

(再掲)	領域A 満足度：高、重要度：低	領域B 満足度：低、重要度：低	領域C 満足度：高、重要度：高	領域D 満足度：低、重要度：高	
方向性	【現状維持・効率化施策】 満足度が高いため、現状水準を維持しつつ、重要度が低いため、効率化について検討していく。	【検討施策】 施策の必要性や内容について検討をし、施策の改善を図る。	【重点維持施策】 おおむね満足しているが、重要度も高いため、引き続き現在の施策を維持していく。	【優先改善施策】 施策の重要度は高いが満足していない現状であり、満足度を向上させるために優先的に施策の改善・充実を図る。	
満足度の経年推移	増加傾向（＋）	満足度が低下しない程度に、施策の効率化を図る。	改善の途上にある可能性があるため、現状の施策を維持しつつ、引き続き改善について検討する。	現在のままの施策の水準を維持していく。	現在の施策で、改善している可能性もあるが、満足度は低いため、施策の充実を図る。
	減少傾向（－）	施策のあり方についても検討をし、施策の効率化を図る。	施策の内容等の見直しを含めて検討する。	施策は維持するが、満足度の減少が継続しないよう内容の改善を図る。	最優先で施策の改善を図る。

【表：満足度の経年推移の視点を加えた領域ごとの考え方】

ア) 満足度の経年推移と傾向

前ページの考え方を基に傾きを算出すると以下のとおりとなり、それぞれの施策の満足度の傾向がわかります。

基本施策	H17	H22	H27	傾き	傾向
1-①自然環境の保全・活用	47.0	58.0	57.9	5.5	増加
1-②地球環境の保全	38.3	56.0	50.8	6.2	増加
1-③循環型社会の推進	48.3	47.0	63.0	7.4	増加
1-④清潔で美しい地域づくり	43.3	47.0	48.6	2.7	増加
1-⑤計画的な土地利用の推進	-	47.0	44.1	-2.9	減少
2-①災害に対する備えの強化と生活安全確保	51.5	59.3	51.5	0.0	減少
2-②地域防犯体制の推進	38.3	59.3	53.4	7.6	増加
2-③消費生活の安定・向上	41.4	50.3	50.7	4.7	増加
2-④公共交通網と交通安全対策の充実	40.1	47.3	47.5	3.7	増加
2-⑤姉妹都市交流・国際交流の促進	44.6	50.5	51.8	3.6	増加
2-⑥安心安全な水の供給	65.5	63.3	65.4	-0.1	減少
3-①地域福祉の充実	-	49.3	53.4	4.1	増加
3-②障害者福祉の充実	46.5	49.0	52.0	2.8	増加
3-③高齢者福祉の充実	47.2	48.8	52.3	2.6	増加
3-④児童福祉の充実	46.2	47.5	50.7	2.3	増加
3-⑤保健・医療の充実	44.7	52.8	60.2	7.8	増加
3-⑥保険・保障制度の充実	45.1	48.0	52.3	3.6	増加
4-①計画的な市街地の形成	44.1	49.5	46.6	1.3	増加
4-②憩いの空間づくり	49.4	56.8	54.5	2.5	増加
4-③良好な住宅地・居住空間の形成	47.4	48.8	50.0	1.3	増加
4-④安心して活動できる空間づくり	36.4	48.3	52.5	8.0	増加
4-⑤体系的な道路網の整備	40.7	53.3	48.5	3.9	増加
4-⑥雨水排水対策の推進	39.3	46.8	52.0	6.3	増加
4-⑦効率的・効果的な下水道の整備	43.2	49.5	53.5	5.2	増加
5-①農観商工連携による地域産業の活性化	-	47.0	48.3	1.3	増加
5-②農林業の振興	45.8	51.0	48.2	1.2	増加
5-③畜産業の振興	-	53.5	52.3	-1.2	減少
5-④商業・サービス業の振興	41.1	40.8	46.5	2.7	増加
5-⑤工業の振興	43.4	42.0	44.7	0.7	増加
5-⑥観光の振興	44.7	46.5	49.0	2.1	増加
5-⑦雇用・就労環境の充実	32.7	39.3	44.6	5.9	増加
5-⑧中心市街地の活性化	35.5	41.3	41.6	3.1	増加
6-①生涯学習の推進	48.3	50.8	53.5	2.6	増加
6-②学校教育の充実	48.3	49.3	52.3	2.0	増加
6-③芸術・文化活動の振興	49.8	51.8	51.7	1.0	増加
6-④生涯スポーツの振興	50.4	52.8	53.2	1.4	増加
6-⑤青少年の健全育成	43.5	48.5	52.4	4.4	増加
7-①市民との協働による地域づくり	43.3	48.8	51.4	4.0	増加
7-②男女共同参画の推進	47.9	52.0	50.4	1.2	増加
7-③効率的・効果的な行財政運営の推進	36.3	42.5	47.9	5.8	増加
7-④地域情報化の推進	45.2	48.5	49.8	2.3	増加

イ) 重要度の経年推移と傾向

満足度と同様に傾きを算出すると以下のとおりとなり、それぞれの施策の重要度の傾向がわかります。

基本施策	H17	H22	H27	傾き	傾向
1-①自然環境の保全・活用	79.3	78.3	79.7	0.2	増加
1-②地球環境の保全	68.0	86.3	80.1	6.0	増加
1-③循環型社会の推進	82.2	88.5	84.1	1.0	増加
1-④清潔で美しい地域づくり	80.7	88.5	84.9	2.1	増加
1-⑤計画的な土地利用の推進	-	69.0	70.9	1.9	増加
2-①災害に対する備えの強化と生活安全確保	80.0	82.8	84.8	2.4	増加
2-②地域防犯体制の推進	85.6	82.8	81.0	-2.3	減少
2-③消費生活の安定・向上	71.5	66.8	64.6	-3.4	減少
2-④公共交通網と交通安全対策の充実	72.9	78.3	73.2	0.1	増加
2-⑤姉妹都市交流・国際交流の促進	54.8	50.5	54.0	-0.4	減少
2-⑥安心安全な水の供給	85.7	84.3	87.3	0.8	増加
3-①地域福祉の充実	-	75.5	77.2	1.7	増加
3-②障害者福祉の充実	77.5	74.8	78.3	0.4	増加
3-③高齢者福祉の充実	82.1	80.0	79.7	-1.2	減少
3-④児童福祉の充実	78.1	79.8	83.2	2.6	増加
3-⑤保健・医療の充実	77.9	82.3	84.2	3.2	増加
3-⑥保険・保障制度の充実	78.4	80.0	81.3	1.5	増加
4-①計画的な市街地の形成	62.5	69.0	74.2	5.8	増加
4-②憩いの空間づくり	69.1	66.8	69.4	0.2	増加
4-③良好な住宅地・居住空間の形成	56.2	63.0	66.1	5.0	増加
4-④安心して活動できる空間づくり	72.8	72.5	71.7	-0.6	減少
4-⑤体系的な道路網の整備	75.3	68.0	76.7	0.7	増加
4-⑥雨水排水対策の推進	76.5	76.0	76.8	0.2	増加
4-⑦効率的・効果的な下水道の整備	78.1	80.0	77.5	-0.3	減少
5-①農観商工連携による地域産業の活性化	-	73.6	67.9	-5.7	減少
5-②農林業の振興	66.2	76.8	71.2	2.5	増加
5-③畜産業の振興	-	65.5	69.5	4.0	増加
5-④商業・サービス業の振興	70.5	73.3	65.3	-2.6	減少
5-⑤工業の振興	66.4	73.5	70.3	2.0	増加
5-⑥観光の振興	67.5	71.3	72.3	2.4	増加
5-⑦雇用・就労環境の充実	80.9	82.0	76.0	-2.4	減少
5-⑧中心市街地の活性化	70.4	73.0	71.1	0.3	増加
6-①生涯学習の推進	68.4	62.8	69.6	0.6	増加
6-②学校教育の充実	77.3	78.0	79.9	1.3	増加
6-③芸術・文化活動の振興	67.4	61.5	63.9	-1.7	減少
6-④生涯スポーツの振興	65.5	63.5	63.2	-1.2	減少
6-⑤青少年の健全育成	77.0	75.8	74.6	-1.2	減少
7-①市民との協働による地域づくり	66.0	68.0	65.7	-0.1	減少
7-②男女共同参画の推進	57.0	59.8	62.7	2.8	増加
7-③効率的・効果的な行財政運営の推進	74.1	81.3	70.6	-1.8	減少
7-④地域情報化の推進	63.7	63.0	69.4	2.9	増加

(3)第1次総合計画後期基本計画における目標指標（市民満足度）の達成状況

第1次総合計画後期基本計画では、市民満足度が基本施策の目標指標となっており、それぞれの基本施策における目標値の達成状況は以下のとおりです。

基本施策	基準値 (H22)	実績値 (H27)	目標値 (H28)	達成状況
1-①自然環境の保全・活用	58	57.9	63	★
1-②地球環境の保全	56	50.8	61	★
1-③循環型社会の推進	47	63.0	52	★★★
1-④清潔で美しい地域づくり	47	48.6	57	★★
1-⑤計画的な土地利用の推進	47	44.1	52	★
2-①災害に対する備えの強化と生活安全確保	59	51.5	64	★
2-②地域防犯体制の推進	59	53.4	64	★
2-③消費生活の安定・向上	50	50.7	55	★★
2-④公共交通網と交通安全対策の充実	47	47.5	57	★★
2-⑤姉妹都市交流・国際交流の促進	51	51.8	56	★★
2-⑥安心安全な水の供給	63	65.4	68	★★
3-①地域福祉の充実	49	53.4	59	★★
3-②障害者福祉の充実	49	52.0	59	★★
3-③高齢者福祉の充実	49	52.3	59	★★
3-④児童福祉の充実	48	50.7	58	★★
3-⑤保健・医療の充実	53	60.2	58	★★★
3-⑥保険・保障制度の充実	48	52.3	58	★★
4-①計画的な市街地の形成	50	46.6	55	★
4-②憩いの空間づくり	57	54.5	62	★
4-③良好な住宅地・居住空間の形成	49	50.0	54	★★
4-④安心して活動できる空間づくり	48	52.5	53	★★
4-⑤体系的な道路網の整備	53	48.5	58	★
4-⑥雨水排水対策の推進	47	52.0	57	★★
4-⑦効率的・効果的な下水道の整備	50	53.5	60	★★
5-①農観商工連携による地域産業の活性化	47	48.3	52	★★
5-②農林業の振興	51	48.2	56	★
5-③畜産業の振興	54	52.3	59	★
5-④商業・サービス業の振興	41	46.5	51	★★
5-⑤工業の振興	42	44.7	52	★★
5-⑥観光の振興	47	49.0	52	★★
5-⑦雇用・就労環境の充実	39	44.6	49	★★
5-⑧中心市街地の活性化	41	41.6	46	★★
6-①生涯学習の推進	51	53.5	56	★★
6-②学校教育の充実	49	52.3	59	★★
6-③芸術・文化活動の振興	52	51.7	57	★
6-④生涯スポーツの振興	53	53.2	58	★★
6-⑤青少年の健全育成	49	52.4	59	★★
7-①市民との協働による地域づくり	49	51.4	54	★★
7-②男女共同参画の推進	52	50.4	57	★
7-③効率的・効果的な行財政運営の推進	43	47.9	53	★★
7-④地域情報化の推進	49	49.8	54	★★

※達成状況 ★★★：直近実績値が目標値を達成している。

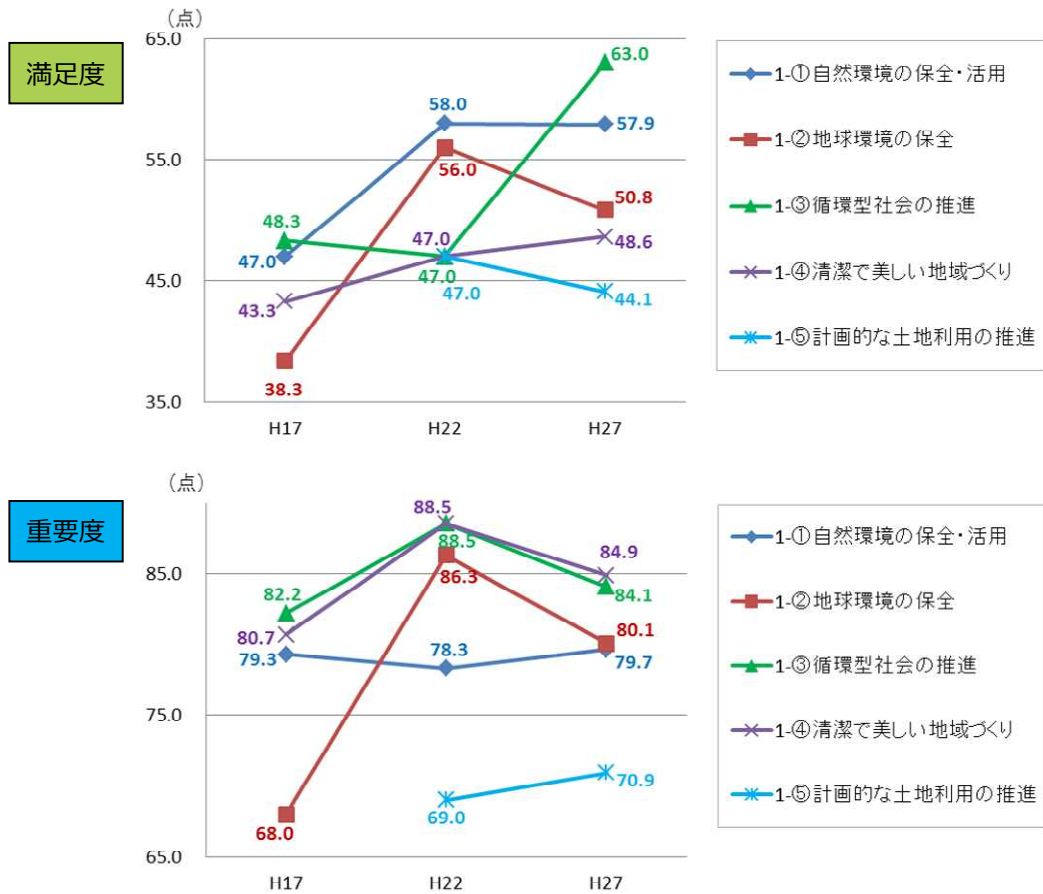
★★：目標値は達成していないが、基準値以上の実績値となっている。

★：基準値より悪化している。

(4)まとめ

①基本政策 1 自然と共生するまちづくり

ア) 第 1 次総合計画期間内における満足度と重要度の推移



イ) 基本政策 1 の総括 (方向性)

基本施策	散布図の領域	満足度傾向	重要度傾向	目標値の達成状況
1-①自然環境の保全・活用	C	増加	増加	★
1-②地球環境の保全	D	増加	増加	★
1-③循環型社会の推進	C	増加	増加	★★★★
1-④清潔で美しい地域づくり	D	増加	増加	★★
1-⑤計画的な土地利用の推進	B	減少	増加	★

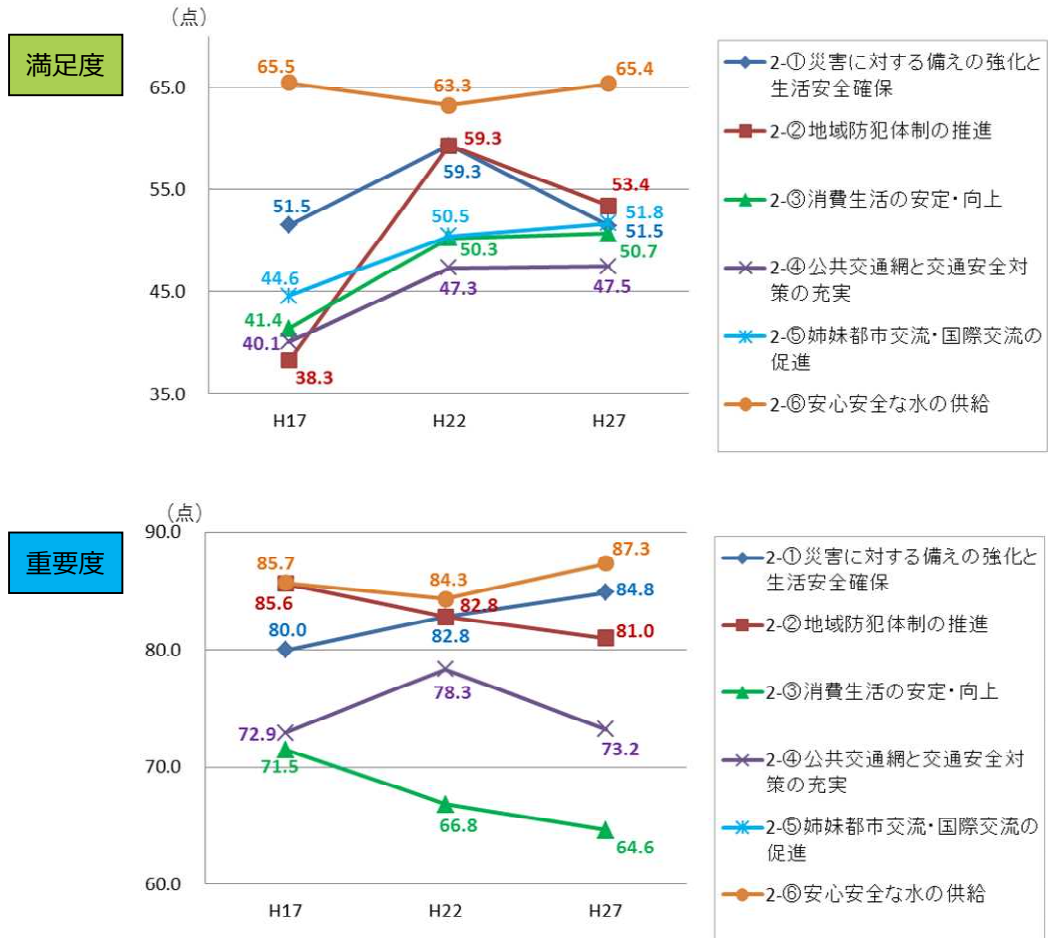
全体的に重要度が高い傾向にあり、特にD領域である「1-②地球環境の保全」と「1-④清潔で美しい地域づくり」は、優先的に改善を進めていくべき施策と考えられます。

「1-①自然環境の保全・活用」と「1-③循環型社会の推進」は、現在の施策の水準を維持していきますが、目標値を達成していない「1-①自然環境の保全・活用」は、施策の検証も必要です。

「1-⑤計画的な土地利用の推進」は、施策の必要性や内容について見直しを進めていくべき施策と考えられます。

②基本政策2 快適で潤いのあるまちづくり

ア) 第1次総合計画期間内における満足度と重要度の推移



イ) 基本政策2の総括(方向性)

基本施策	散布図の領域	満足度傾向	重要度傾向	目標値の達成状況
2-①災害に対する備えの強化と生活安全確保	C	減少	増加	★
2-②地域防犯体制の推進	C	増加	減少	★
2-③消費生活の安定・向上	B	増加	減少	★★
2-④公共交通網と交通安全対策の充実	B	増加	増加	★★
2-⑤姉妹都市交流・国際交流の促進	A	増加	減少	★★
2-⑥安心安全な水の供給	C	減少	増加	★★

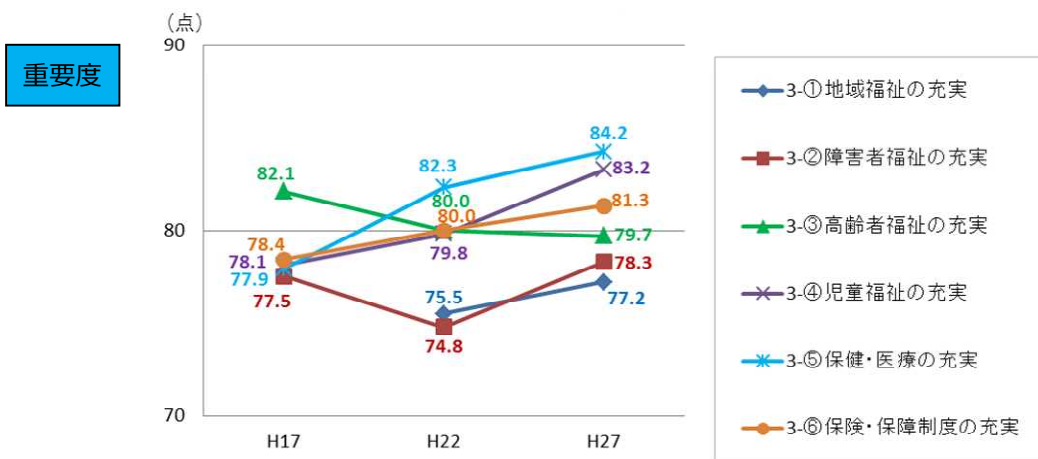
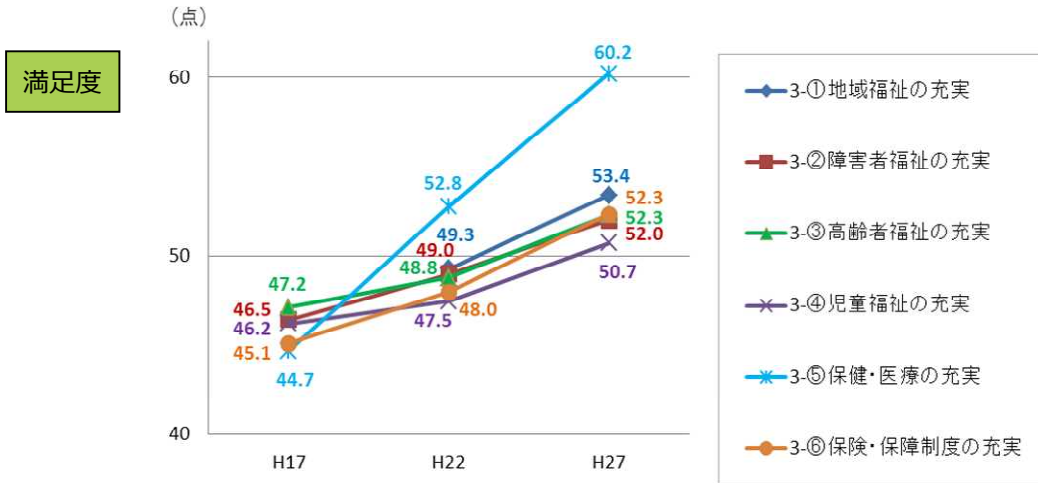
C領域である「2-①災害に対する備えの強化と生活安全確保」、「2-②地域防犯体制の推進」、「2-⑥安心安全な水の供給」は現状を維持していくべき施策ですが、「2-①災害に対する備えの強化と生活安全確保」と「2-⑥安心安全な水の供給」は満足度が減少傾向、かつ目標を達成していないため、内容の改善を図っていく必要があると考えられます。

「2-③消費生活の安定・向上」、「2-④公共交通網と交通安全対策の充実」は、満足度が向上していくよう改善を図っていきます。

「2-⑤姉妹都市交流・国際交流の促進」は、満足度が低下しない程度に効率化を図っていく必要があると考えられます。

③基本政策3 健やかに安心して暮らせるまちづくり

ア) 第1次総合計画期間内における満足度と重要度の推移



イ) 基本政策3の総括 (方向性)

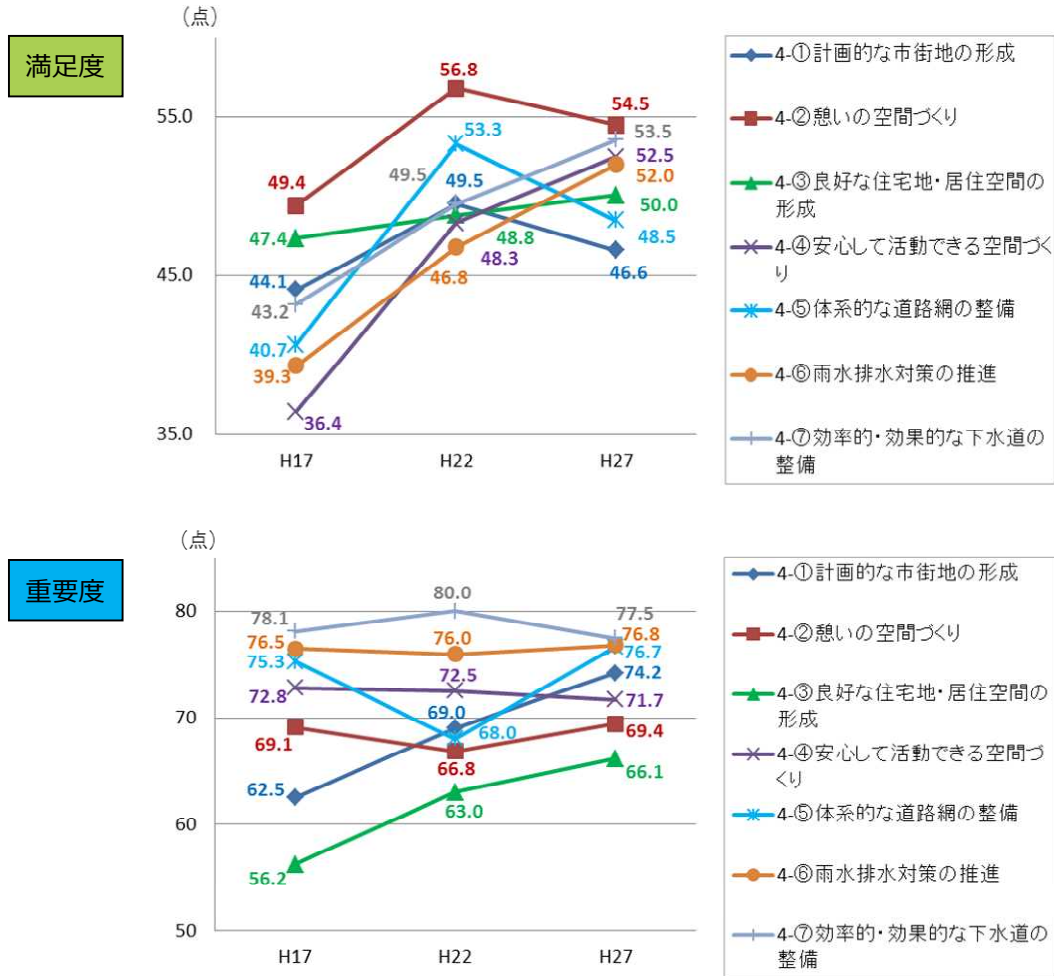
基本施策	散布図の領域	満足度傾向	重要度傾向	目標値の達成状況
3-①地域福祉の充実	C	増加	増加	★★
3-②障害者福祉の充実	C	増加	増加	★★
3-③高齢者福祉の充実	C	増加	減少	★★
3-④児童福祉の充実	D	増加	増加	★★
3-⑤保健・医療の充実	C	増加	増加	★★★★
3-⑥保険・保障制度の充実	C	増加	増加	★★

全体的に満足度・重要度ともに高い傾向にあり、現在の水準を維持していく必要がありますが、目標値を達成していない基本施策が多いため、施策の充実等の検討が必要であると考えられます。

「3-④児童福祉の充実」は、満足度は増加傾向にあるものの依然としてD領域に位置しており、優先的に改善・充実を図る必要があります。

④基本政策4 安全で便利なまちづくり

ア) 第1次総合計画期間内における満足度と重要度の推移



イ) 基本政策4の総括（方向性）

基本施策	散布図の領域	満足度傾向	重要度傾向	目標値の達成状況
4-①計画的な市街地の形成	D	増加	増加	★
4-②憩いの空間づくり	A	増加	増加	★
4-③良好な住宅地・居住空間の形成	B	増加	増加	★★
4-④安心して活動できる空間づくり	A	増加	減少	★★
4-⑤体系的な道路網の整備	D	増加	増加	★
4-⑥雨水排水対策の推進	C	増加	増加	★★
4-⑦効率的・効果的な下水道の整備	C	増加	減少	★★

「4-①計画的な市街地の形成」、「4-⑤体系的な道路網の整備」は満足度・重要度ともに増加傾向にはあるものの、D領域に分布し、かつ目標値を達成していないことから、優先的に改善・充実を図る必要があります。

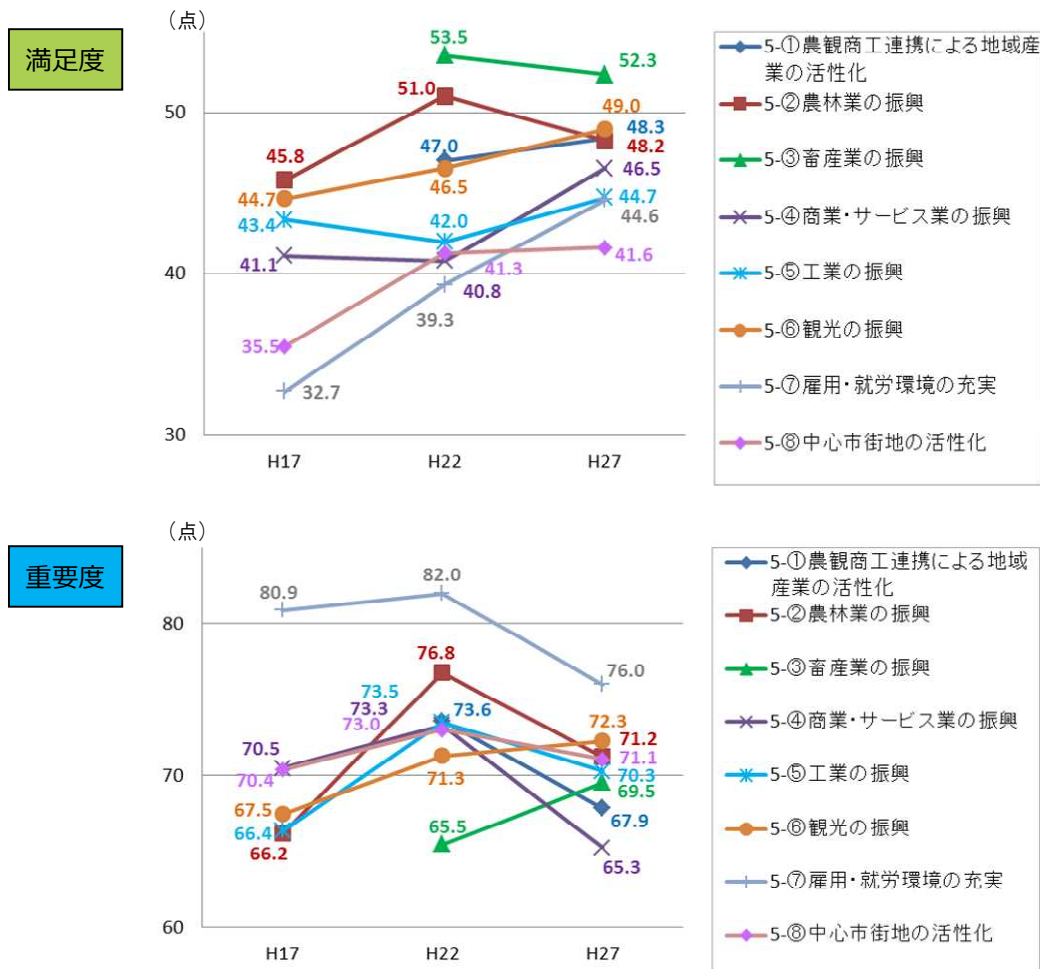
「4-③良好な住宅地・居住空間の形成」は、現状の施策を維持しつつ、引き続き改善について検討する必要がありますと考えられます。

「4-②憩いの空間づくり」、「4-④安心して活動できる空間づくり」は、施策の効率化を図る必要があると考えられます。

「4-⑥雨水排水対策の推進」、「4-⑦効率的・効果的な下水道の整備」は、現在の水準を維持していきますが、目標値の達成に向け、施策の充実等の検討が必要であると考えられます。

⑤基本政策 5 活力を創出するまちづくり

ア) 第1次総合計画期間内における満足度と重要度の推移



イ) 基本政策 5 の総括 (方向性)

基本施策	散布図の領域	満足度傾向	重要度傾向	目標値の達成状況
5-①農観商工連携による地域産業の活性化	B	増加	減少	★★
5-②農林業の振興	B	増加	増加	★
5-③畜産業の振興	A	減少	増加	★
5-④商業・サービス業の振興	B	増加	減少	★★
5-⑤工業の振興	B	増加	増加	★★
5-⑥観光の振興	B	増加	増加	★★
5-⑦雇用・就労環境の充実	D	増加	減少	★★
5-⑧中心市街地の活性化	B	増加	増加	★★

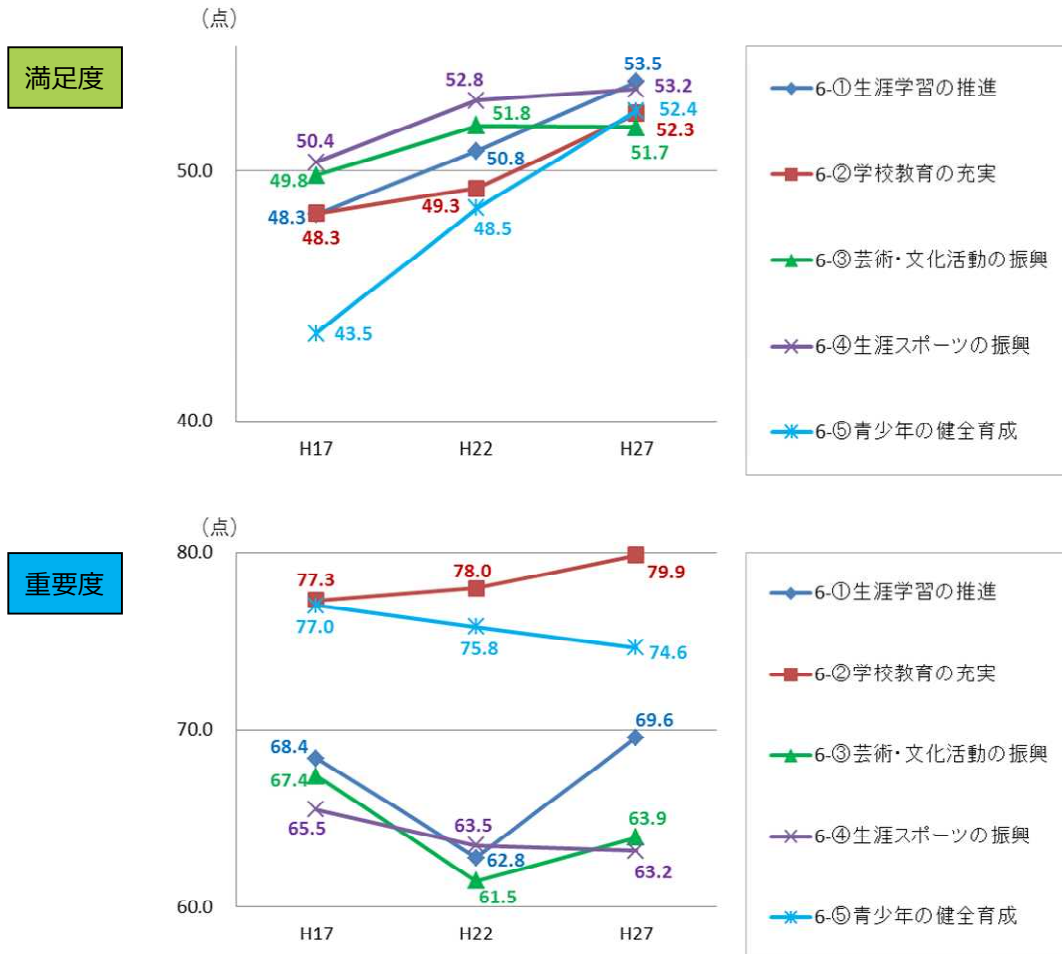
満足度・重要度ともに低いB領域の施策が多い傾向にありますが、満足度は増加傾向にあるため、施策を維持しながら引き続き改善等を検討する必要があると考えられます。

「雇用・就労環境の充実」は、満足度は増加傾向にあるものの依然としてD領域にあり、優先的に改善・充実を図る必要があります。

「畜産業の振興」は、A領域にあり、満足度も減少傾向にあるため、施策の検証が必要と考えられます。

⑥基本政策6 豊かな心と文化を育むまちづくり

ア) 第1次総合計画期間内における満足度と重要度の推移



イ) 基本政策6の総括（方向性）

基本施策	散布図の領域	満足度傾向	重要度傾向	目標値の達成状況
6-①生涯学習の推進	A	増加	増加	★★
6-②学校教育の充実	C	増加	増加	★★
6-③芸術・文化活動の振興	A	増加	減少	★
6-④生涯スポーツの振興	A	増加	減少	★★
6-⑤青少年の健全育成	C	増加	減少	★★

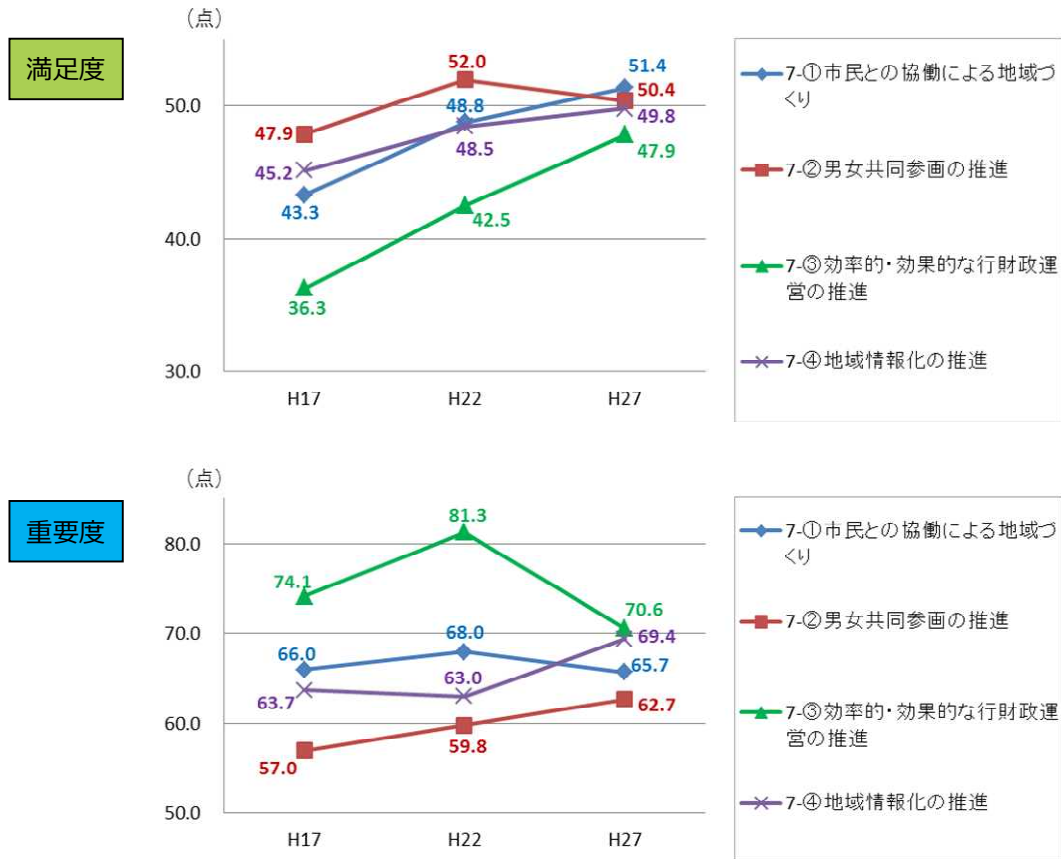
全体的に満足度が平均値より高い傾向にあります。

「生涯学習の推進」、「芸術・文化活動の振興」、「生涯スポーツの振興」はA領域にあり、現状の水準を維持しつつ、効率化を図る必要があると考えられます。

「学校教育の充実」、「青少年の健全育成」はC領域にあり、重要度も平均値より高い傾向にあります。特に「学校教育の充実」は、重要度が増加傾向にあり、現在の水準を維持しながらも、より充実を図る必要があると考えられます。

⑦基本政策7 創意と協働によるまちづくり

ア) 第1次総合計画期間内における満足度と重要度の推移



イ) 基本政策7の総括 (方向性)

基本施策	散布図の領域	満足度傾向	重要度傾向	目標値の達成状況
7-①市民との協働による地域づくり	A	増加	減少	★★
7-②男女共同参画の推進	B	増加	増加	★
7-③効率的・効果的な行財政運営の推進	B	増加	減少	★★
7-④地域情報化の推進	B	増加	増加	★★

全体的に重要度が平均値より低い傾向にあります。

「男女共同参画の推進」、「効率的・効果的な行財政運営の推進」、「地域情報化の推進」は、満足度が増加傾向にあり、現状の施策を維持しながら、改善について検討する必要があると考えられます。

「市民との協働による地域づくり」はA領域にあり、満足度が低下しない程度に施策の効率化を図る必要があると考えられます。

3 第1次総合計画後期基本計画の評価

(1)評価の概要

第1次総合計画後期基本計画において、市民満足度以外の成果指標が設定されている基本施策及び具体的な施策について、目標値に対する達成度により評価を実施しました。

①調査対象項目

- ア) 後期基本計画基本施策（41 施策のうち市民満足度以外の成果指標が設定されている 13 施策）
- イ) 後期基本計画における主要事業（具体的な施策 200 施策）

②評価の基準日

3 箇年の達成度についての評価の基準日は、平成 27 年 3 月 31 日（平成 26 年度終了時）を原則とし、計画期間 5 年のうち、3 年が終了した時点での評価としました。また、5 箇年の達成見込の基準日については、後期基本計画終了時の平成 28 年度としました。

③評価の方法

総合計画後期基本計画に記載されている平成 28 年度の成果指標（目標値）に対する、達成度（%）を算出し、以下の達成状況基準表に基づき評価しました。

達成状況指標		達成度
A	目標を達成した。 事業が完了した。	100%以上
B	概ね達成した。	70%以上 100%未満
C	順調に進捗している。	50%以上 70%未満
D	一定の進捗が見られる。	30%以上 50%未満
E	動き始めている。	30%未満
F	計画策定時の現状値から動きがなかった。 計画策定時の現状値を下回っている。	0%以下

なお、達成度は、第1次総合計画後期基本計画策定時である平成 22 年度の数値を「基準値」、本評価の基準年度である平成 26 年度の数値を「実績値」、計画最終年度である平成 28 年度の達成見込み数値を「推計値」とし、下記の数式で算出しました。

$$\text{達成度 (\%)} = \frac{\text{実績値} - \text{基準値}}{\text{目標値} - \text{基準値}}$$

【3 箇年】 【26 年度】 【22 年度】 【28 年度】 【22 年度】

$$\text{達成度 (\%)} = \frac{\text{推計値} - \text{基準値}}{\text{目標値} - \text{基準値}}$$

【5 箇年見込】 【28 年度】 【22 年度】 【28 年度】 【22 年度】

(2)達成状況一覧表

①基本施策（市民満足度以外の成果指標が設定されている13施策）

基本政策	基本施策	目標指標	単位	H22年度 (基準値)	H28年度 (目標値)	26年度 (実績値)	28年度 (推計値)	3箇年 達成度	5箇年 達成見込	担当部会	備考	
基本政策3	②障害者福祉の充実	障害福祉サービスを利用している障害者の割合	%	10.3	15.0	10.5	12.0	E	D	保健福祉部会		
	⑥保険・保障制度の充実	(1)国民健康保険制度の健全な運営	一人当たりの医療給付費の伸び率	%	4.5	3.5	4.1	4.5	D	F	保健福祉部会	
		(3)生活相談体制の充実と生活保護制度の的確な運用	稼働能力を有する者の就労率	%	30.0	60.0	45.1	50.0	C	C	保健福祉部会	
基本政策4	①計画的な市街地の形成	都市計画道路の整備率	%	42.1	45.2	45.1	48.0	B	A	建設部会		
	⑤体系的な道路網の整備	道路改良率	%	63.1	64.1	64.1	76.3	A	A	建設部会		
	⑦効率的・効果的な下水道の整備	生活排水処理人口普及率	%	67.8	71.9	72.9	75.3	A	A	上下水道部会		
基本政策5	②農林業の振興	(2)林業の振興	森林面積	ha	38,515	38,454	38,424	38,412	C	D	産業観光部会	
	③畜産業の振興		家畜飼養頭数 (乳用牛・肉用牛)	頭	28,900	31,000	33,031	33,100	A	A	産業観光部会	
	⑥観光の振興		観光客入込数	万人	1,036	1,040	986	1,021	F	F	産業観光部会	
			観光客宿泊数	万人	108.9	110.0	94.2	97	F	F	産業観光部会	
	⑦雇用・就労環境の充実		有効求人倍率 (基礎職安管内)	倍	0.40	1.00	1.09	1	A	A	産業観光部会	
		有効求人倍率 (大田原職安管内)	倍	0.45	1.00	0.72	1	D	A	産業観光部会		
基本政策7	④生涯スポーツの振興	スポーツ施設の利用者数	人	476,201	530,000	527,372	547,000	B	A	教育部会		

達成状況指標		3箇年 達成数	割合	5箇年 達成見込	割合
A	達成した	4	30.8%	7	53.8%
B	おおむね達成した	2	15.4%	0	0.0%
C	順調に進捗している	2	15.4%	1	7.7%
D	一定の進捗がみられる	2	15.4%	2	15.4%
E	動き始めている	1	7.7%	0	0.0%
F	計画策定時の現状値から動きがなかった	2	15.4%	3	23.1%
(合計)		13		13	

②具体的な施策

ア) 総括表

達成状況指標		3 箇年 達成数	割合	5 箇年 達成見込	割合
A	達成した	60	29.9%	105	53.0%
B	おおむね達成した	21	10.4%	18	9.1%
C	順調に進捗している	21	10.4%	16	8.1%
D	一定の進捗がみられる	16	8.0%	11	5.6%
E	動き始めている	27	13.4%	14	7.1%
F	計画策定時の現状値から動きがなかった	56	27.9%	34	17.2%
(合計)		201		198	

※ 3 箇年達成数が 201 施策と評価対象項目（200 施策）より多くなっているのは、「学校教育指導の充実」において、小学校と中学校を分けて評価しているためです。

※ 5 箇年達成見込が評価対象項目より少ないのは、事業終了等によるものです。

イ) 基本政策ごとの一覧表

基本政策 1 自然と共生するまちづくり

基本 施策	具体的な施策	事業名	目標値	単位	H22年度 (基準値)	H28年度 (目標値)	26年度 (実績値)	28年度 (推計値)	3箇年 達成度	5箇年 達成見込	担当部会	備考
自然 環境 用の 保全・ 活	環境保全のための基本的な計画の策定およびその推進	第2期環境基本計画策定事業	環境基本計画の策定・進捗状況	—	第1期 推進中	第2期 策定完了	第1期 推進中	第2期 策定完了	A	A	生活環境部会	
	環境学習の推進	環境企画展開催事業/那須塩原自然市民講座開催事業	環境企画展への来場者数	人	8,604	9,200	43,800	40,000	A	A	生活環境部会	
	希少野生動植物種の保護	希少野生動植物種保護対策事業	生息地等保全協定区数	地区	0	25	15	20	C	B	生活環境部会	【重点事業】
地球 環境 の 保全	地球温暖化対策の推進	地球温暖化対策推進事業	地球温暖化対策実行計画(区域施策種)	—	未策定	第1期 推進中	第1期 推進中	第1期 推進中	A	A	生活環境部会	【重点事業】
	再生可能エネルギーの利用の推進	再生可能エネルギー推進事業	太陽光発電システム設置補助件数(累計)	件	0	1,500	1,132	1,500	B	A	生活環境部会	【重点事業】
	省エネルギー施策の推進	防犯灯設置及び管理助成事業	LED防犯灯設置補助基数	基	0	1,000	新設 329	新設 220	A	A	生活環境部会	25年度に既存防犯灯を一括更新
循環 型 社会 の 推進	ごみの減量化・資源化	一般廃棄物処理基本計画改訂事業	一般廃棄物処理基本計画改訂	—	未改訂	改訂 完了	改訂	改訂	A	A	生活環境部会	24年度に改定 28・29年度中間見直し予定
	ごみの減量への意識啓発	ごみ減量協力店推進及び顕彰事業	事業所等の顕彰件数	件	0	20	0	3	F	E	生活環境部会	
	ごみ処理施設の管理運営等	旧清掃センター解体事業	旧清掃センター解体施設数	箇所	0	1	1	1	A	A	生活環境部会	
清潔 で 美 しい 地 域 づ く	廃棄物不適正処理の監視体制の強化	不法投棄巡回監視事業	不法投棄等に関する苦情相談	件	228	190	145	140	A	A	生活環境部会	
	廃棄物の適正処理の推進	産廃施設立地規制策定事業	新規産廃施設許可件数(計画期間中累計)	件	1	0	1	3	F	F	生活環境部会	
	公害の定期的な調査による監視及び指導	水質汚濁対策事業	那珂川定期水質調査(4箇所)環境基準(BOD)達成率	%	96	100	100	100	A	A	生活環境部会	
計 画 的 な 土 地 利 用 の 推 進	土地利用の適切な規制と誘導	国土利用計画・土地利用調整基本計画等の推進	農用地面積	ha	9,881	9,783	9,690	9,660	E	F	企画部会	
			森林面積	ha	38,515	38,454	38,424	38,412				
			宅地面積	ha	3,469	3,496	3,537	3,560				
	土地利用調整機能の充実	地籍調査事業	地籍調査実施済面積の割合	%	56.1	57.4	56.5	57.2	D	B	産業観光部会	

達成状況指標		3箇年 達成数	割合	5箇年 達成見込	割合
A	達成した	8	57.1%	9	64.3%
B	おおむね達成した	1	7.1%	2	14.3%
C	順調に進捗している	1	7.1%	0	0.0%
D	一定の進捗がみられる	1	7.1%	0	0.0%
E	動き始めている	1	7.1%	1	7.1%
F	計画策定時の現状値から動きがなかった	2	14.3%	2	14.3%
(合計)		14		14	

基本政策 2 快適で潤いのあるまちづくり

基本施策	具体的な施策	事業名	目標値	単位	H22年度 (基準値)	H28年度 (目標値)	26年度 (実績値)	28年度 (推計値)	3箇年 達成度	5箇年 達成見込	担当部会	備考
災害に対する備えの強化と生活安全確保	消防施設や車両の充実	耐震性防火水槽の新設事業	耐震性防火水槽整備基数	基	223	235	228	235	D	A	総務部会	
	消防団の充実・強化	消防団員確保事業	消防団員数	人	1,314	1,435	1,265	1,280	F	F	総務部会	
	消防救急通信体制の充実	消防救急無線高規格化事業	消防救急無線のデジタル化	—	未完了	完了	未完了	完了	F	A	総務部会	
	防災予防体制の強化・充実	総合防災訓練事業	総合防災訓練の開催回数	回	0	1	1	1	A	A	総務部会	
	防災対応体制の強化	地域防災計画の見直し	地域防災計画	—	未改訂	改訂完了	改訂完了	改訂完了	A	A	総務部会	
	市民協働による災害に強いまちづくりの推進	自主防災組織育成支援事業	自主防災組織結成数	組織	50	214	95	130	E	D	総務部会	【重点事業】
	放射能対策の強化	放射能対策事業	15公民館エリアの住宅除染の実施	エリア	0	15	15	15	A	A	総務部会	【重点事業】 (策定時目標値未設定)
地域防犯体制の推進	防犯意識の啓発・高揚	防犯啓発事業	犯罪の認知件数	件	1,934	1,330	1,202	1,150	A	A	生活環境部会	
	地域主体の防犯活動の推進	自主防犯団体の設立促進・支援	防犯団体数	団体	82	100	77	82	F	F	生活環境部会	
消費生活の安定・向上	消費者教育の充実	消費生活に関する情報提供事業	消費者情報提供事業の開催数	回	5	7	7	7	A	A	生活環境部会	
	消費者団体の育成・支援	市消費生活推進連絡会運営事業	市消費生活推進連絡会構成団体数	団体	9	10	6	7	F	F	生活環境部会	
	消費者リーダーの養成	消費者啓発事業	消費者啓発事業の開催数	回	1	4	6	9	A	A	生活環境部会	
	相談体制の充実	消費生活出前講座開催事業	消費生活出前講座開催回数	回	20	30	38	38	A	A	生活環境部会	
公共交通網と交通安全対策の充実	生活バス路線の充実	地域バス運行事業	利用者数	人	117,800	119,600	144,396	145,000	A	A	生活環境部会	25年度から予約ワゴンバス含む
	公共交通システム構想の策定	公共交通システム構想策定事業	公共交通システム構想	—	未策定	未策定	未策定	未策定	F	F	生活環境部会	【重点事業】
	交通安全意識の高揚	市民総ぐるみ交通安全推進啓発事業	交通事故(人身事故)発生件数	件	530	410	421	390	B	A	生活環境部会	
	交通安全施設の充実	交通安全施設管理事業	交通事故(人身事故)発生件数	件	530	410	421	390	B	A	生活環境部会	
	駐車場・駐輪場の充実	駐車場管理運営事業	駐車場利用台数	台	212,528	213,700	314,033	315,000	A	A	生活環境部会	
姉妹都市交流・国際交流の促進	姉妹都市交流の促進	都市間交流推進事業	市民主体での定期的な交流都市数	市	2	3	2	2	F	F	企画部会	
	外国人も暮らしやすい地域づくり	日本語指導者養成講座事業	日本語指導者養成講座の受講者数	人	15	30	10	30	F	A	企画部会	
	国際交流協会への支援	国際交流協会支援事業	各種事業延べ参加者数	人	1,769	1,800	1,252	1,800	F	A	企画部会	
安心安全な水の供給	経営基盤の強化	アセットマネジメント計画策定業務	アセットマネジメント計画	—	未策定	策定完了	策定中	策定完了	D	A	上下水道部会	
	サービスの向上	水道開始休止のインターネット等受付事務	インターネット等受付率	%	0	20	—	—	F	F	上下水道部会	事業見送り
	水質管理体制の強化	水道施設監視システム更新事業	水道施設監視システム更新計画	—	未策定	策定完了	基本計画策定完了	実施設計	E	E	上下水道部会	
	施設整備の推進	板室地区配水施設整備事業	管路整備延長	m	0	3,980	3,925	塩原地区整備準備	A	A	上下水道部会	25年度板室地区事業完了
	耐震化の推進	石綿セメント管更新事業	石綿セメント管更新率	%	35.1	100.0	58.8	71.1	D	C	上下水道部会	【重点事業】
	施設管理体制の強化	水道施設侵入防止柵整備事業	フェンス更新施設数	施設	0	5	1	5	E	A	上下水道部会	

達成状況指標		3箇年 達成数	割合	5箇年 達成見込	割合
A	達成した	10	37.0%	18	66.7%
B	おおむね達成した	2	7.4%	0	0.0%
C	順調に進捗している	0	0.0%	1	3.7%
D	一定の進捗がみられる	3	11.1%	1	3.7%
E	動き始めている	3	11.1%	1	3.7%
F	計画策定時の現状値から動きがなかった	9	33.3%	6	22.2%
(合計)		27		27	

基本政策3 健やかに安心して暮らせるまちづくり

基本施策	具体的な施策	事業名	目標値	単位	H22年度	H28年度	26年度	28年度	3箇年	5箇年	担当部会	備考
					(基準値)	(目標値)	(実績値)	(推計値)	達成度	達成見込		
地域福祉の充実	地域福祉活動の支援	地域福祉計画推進事業	地域福祉計画	—	第2期 推進中	第3期 最終年度	第2期 推進中	第3期 策定	A	A	保健福祉部会	
	地域福祉活動への市民の参加拡大	社会福祉協議会支援事業	社会福祉協議会普通会員数	世帯	21,429	22,000	20,611	20,500	F	F	保健福祉部会	
	地域住民による支え合い活動の推進	災害時要援護者支援事業	登録者数	人	140	300	363	新制度移行	A	—	保健福祉部会	
	人権擁護対策の推進	配偶者からの暴力防止等人権対策事業	DV相談件数	件	49	70	54	60	E	C	子ども未来部会	(策定時目標値未設定)
	相談・支援体制の充実	ふれあい相談事業	相談件数	件	320	380	350	380	C	A	保健福祉部会	
	ボランティアの育成・支援	社会福祉協議会支援事業(再掲)	ボランティア登録者数	人	1,660	2,000	1,656	1,750	F	E	保健福祉部会	
	福祉教育の推進	中高生ボランティアサマースクール支援事業	ボランティアサマースクール参加者数	人	486	530	335	400	F	F	保健福祉部会	
障害者福祉の充実	障害種別を越えた福祉サービスの充実	障害者福祉サービス事業(自立支援法事業)	介護給付サービスを利用している障害者の割合	%	8.60	10.00	9.49	10.00	C	A	保健福祉部会	
	利用者への支援体制の充実	地域生活支援事業(自立支援法事業)	障害者相談支援事業利用件数	件	2,831	3,150	1,941	1,940	F	F	保健福祉部会	
	在宅サービスの充実	地域生活支援事業(自立支援法事業)(再掲)	障害者地域活動支援センターの利用者数	人	185	210	186	210	E	A	保健福祉部会	
	日常生活用具・補装具等の充実	日常生活用具給付事業(自立支援法事業)	日常生活用具給付事業利用者数	件	2,298	2,745	2,998	3,143	A	A	保健福祉部会	
	保健・医療サービスの充実	自立支援医療給付事業(自立支援法事業)	自立支援医療給付事業受給者証発行数	件	287	407	276	302	F	E	保健福祉部会	
	就労の促進	障害者福祉サービス事業(自立支援法事業)(再掲)	訓練等給付サービス利用者の割合	%	2.1	2.9	4.9	5.1	A	A	保健福祉部会	
	地域交流の促進	地域生活支援事業(自立支援法事業)(再掲)	障害者地域活動支援センターにおける地域活動への参加回数	回	13	19	14	16	E	C	保健福祉部会	
コミュニケーション体制の充実	手話通訳者養成事業	手話通訳者・要約筆記者派遣件数	人	407	498	317	394	F	F	保健福祉部会		
高齢者福祉の充実	地域見守り支え合いの推進	地域見守り支え合い事業	地域住民助け合い事業の実施公民館地区数(H27・H31:15公民館地区)	地区	0	6	0	7	F	A	保健福祉部会	(策定時目標値未設定) 27年度事業着手
	自立支援・生活支援の充実	総合相談支援事業	総合相談件数	件	17,516	23,000	19,704	20,000	D	D	保健福祉部会	
	介護予防事業の推進	元気アップデイサービス事業	元気アップデイサービスの利用者数	人	16,967	23,300	16,218	18,000	F	E	保健福祉部会	
	社会参加の促進	生きがいサロン事業	生きがいサロンの箇所数	箇所	36	55	49	55	C	A	保健福祉部会	【重点事業】
	敬老事業の推進	敬老会支援事業	敬老会実施団体数	団体	127	130	126	128	F	D	保健福祉部会	(策定時目標値未設定)
児童福祉の充実	地域社会における子育てサービスの充実	ファミリーサポートセンター事業	ファミリーサポートセンター会員数	人	0	800	370	350	D	D	子ども未来部会	
	保育サービスの充実	待機児童解消事業	保育園入所定員数	人	1,930	2,190	1,980	2,480	E	A	子ども未来部会	
	保育園への民間活力導入	公立保育園の民営化	私立認可保育園数	箇所	6	15	10	11	D	C	子ども未来部会	【重点事業】
	放課後児童対策の充実	放課後児童クラブ整備事業	児童クラブ受入人数(基準日5月1日)	人	1,166	1,400	1,380	1,355	B	B	子ども未来部会	
	児童虐待対策	要保護児童対策地域協議会	新規で受けた相談件数	件	152	260	187	260	D	A	子ども未来部会	(策定時目標値未設定)
	ひとり親家庭等の自立支援の推進	母子家庭高等技能訓練促進費等給付金支給事業	安定した雇用につながった人数(延べ人数)	人	2	20	12	18	C	B	子ども未来部会	
保健・医療の充実	健康づくりの推進	健康教育事業	健康であると思っている人の割合	%	31	50	未把握	39.7	F	D	保健福祉部会	
	食育の推進	食育推進事業	バランスのとれた食生活を送っている人の割合	%	21.3	60.0	未把握	59.4	F	B	保健福祉部会	
	若い世代の健康対策	30歳、35歳節目健康診査	30歳、35歳節目健康診査受診率	%	11.7	20.0	15.0	15.0	D	D	保健福祉部会	
	妊産婦健康対策	妊産婦支援事業	妊婦健康診査費助成件数	件	13,197	14,000	12,389	13,000	F	F	保健福祉部会	
	こども健康対策	乳幼児健康診査相談事業	乳幼児精神運動発達相談人数	人	2,021	2,300	1,916	1,900	F	F	保健福祉部会	
	母性父性育成対策	新生児乳幼児家庭訪問事業	子育てを楽しくないと思う親の割合	%	12.5	10.5	5.3	5.3	A	A	保健福祉部会	
	生活習慣病予防対策	生活習慣病予防事業	生活習慣病予防に取り組む人の割合	%	22.8	70.0	未把握	26.9	F	E	保健福祉部会	【重点事業】
	がん検診の推進	がん検診事業	大腸がん検診受診割合	%	38.7	60.0	40.3	41.0	E	E	保健福祉部会	【重点事業】
	感染症予防対策	予防接種事業	麻疹・風しん定期予防接種実施率	%	94.6	95.0	94.4	95.0	F	A	保健福祉部会	
	救急医療体制の充実	夜間急患診療所の運営事業	(目標値未設定)	—	—	—	—	—	B	B	保健福祉部会	

基本 施策	具体的な施策	事業名	目標値	単位	H22年度 (基準値)	H28年度 (目標値)	26年度 (実績値)	28年度 (推計値)	3箇年 達成度	5箇年 達成見込	担当部会	備考
保険・ 保障 制度の 充実	保健事業の推進	特定健康診査・特定保健指導事業	特定健康診査受診率	%	37.0	65.0	38.8	39.0	E	E	保健福祉 部会	
	医療給付の適正化	診察報酬請求明細書点検事業	国民健康保険被保険者一人 当たりの財政効果額	円	1,800	2,100	1,372	1,500	F	F	保健福祉 部会	
	保健税の適正賦課	保険税の適正賦課	異動届未申請者処理率	%	67.0	77.0	76.4	77.0	B	A	保健福祉 部会	
	収納率の向上	徴収事務	国民健康保険現年度収納 率	%	88.40	89.00	89.82	91.12	A	A	総務部会	
	計画的なサービス基盤の整備	地域密着型サービス事業所整備等 事業	地域密着型サービス事業所 数	箇所	13	35	30	32	B	B	保健福祉 部会	
	サービスの質の向上	介護サービス相談員派遣事業	派遣先施設・事業所の数	箇所	50	68	84	89	A	A	保健福祉 部会	
	給付の適正化	介護給付等費用適正化事業	ケアプランの点検数	件	0	60	0	65	F	A	保健福祉 部会	
	適正保険料の決定と収納率の向上	徴収事務(再掲)	介護保険料現年度収納率	%	98.19	98.49	98.19	98.49	F	A	総務部会	
	専門面接相談員の設置	生活保護費給付事業	相談員設置数	人	1	4	4	4	A	A	保健福祉 部会	
	自立支援の推進	生活保護費給付事業(再掲)	稼働能力を有する者の就労 率	%	30.0	60.0	45.1	50.0	C	C	保健福祉 部会	
	資格審査の徹底	生活保護費給付事業(再掲)	稼働能力を有する者の就労 率	%	30.0	60.0	45.1	50.0	C	C	保健福祉 部会	(策定時目標値未設定)

達成状況指標		3箇年 達成数	割合	5箇年 達成見込	割合
A	達成した	8	17.0%	18	39.1%
B	おおむね達成した	4	8.5%	5	10.9%
C	順調に進捗している	6	12.8%	5	10.9%
D	一定の進捗がみられる	5	10.6%	5	10.9%
E	動き始めている	6	12.8%	6	13.0%
F	計画策定時の現状値から動きがなかった	18	38.3%	7	15.2%
(合計)		47		46	

基本政策 4 安全で便利なまちづくり

基本施策	具体的な施策	事業名	目標値	単位	H22年度 (基準値)	H28年度 (目標値)	26年度 (実績値)	28年度 (推計値)	3箇年 達成度	5箇年 達成見込	担当部会	備考
計画的な市街地の形	市街地内の都市計画道路の整備	3・3・4東那須野東通り道路改良事業	整備進捗率	%	0	7	32	32	A	A	建設部会	
	景観形成の促進	景観形成促進事業	色彩誘導基準適合建築物数	件	8	56	61	90	A	A	建設部会	
	景観意識の醸成	景観意識の醸成事業	講習会参加者数	人	59	210	132	—	D	—	建設部会	「屋外広告物に関する調査研究事業」の中で実施
憩いの空間づくり	公園管理体制の充実	公園維持管理事業	管理公園面積	ha	76.8	78.1	82	82	A	A	建設部会	
	計画的な公園施設の修繕及び更新	都市公園等長寿命化事業	都市公園等長寿命化事業実施公園数	箇所	0	25	10	25	D	A	建設部会	
	水辺の適正な管理	河川愛護団体支援事業	河川愛護団体登録数	団体	34	34	35	35	A	A	建設部会	
良好な住宅地・居住空間の形成	的確な建築確認診査	建築確認事務	構造計算適合性判定を要する物件の建築確認所要期間	日	67	35	43	40	B	B	建設部会	
	開発行為に対する指導	開発帰属公共施設管理事業	修繕実施済み雨水浸透槽の数	箇所	0	32	22	41	C	A	建設部会	
	市営住宅の適正な維持・管理	市営住宅維持管理事業	中層住宅長寿命化改修実施棟数	棟	1	9	9	12	A	A	建設部会	
	住宅の耐震化	木造住宅耐震診断費等補助事業 木造住宅耐震改修費補助事業	住宅の耐震化率	%	80.00	92.00	82.00	83.00	E	E	建設部会	
	被災住宅再建等の支援	被災住宅再建等支援事業	交付件数	件	0	110	16	14	E	E	建設部会	
安らぎの空間づくり	施設のバリアフリー化	ひとにやさしいまちづくり条例適合確認事務	ひとにやさしいまちづくり条例適合確認件数	件	85	133	120	130	B	B	建設部会	
	市有建築物の耐震化及び長寿命化	市有建築物耐震改修推進事業	市有建築物耐震化率	%	69.3	91.0	85.8	92.0	B	A	建設部会	
体系的な道路網の整備	市街地の骨格を形成する道路の整備	市道新南下中野線道路改良事業	事業進捗率	%	0.0	50.0	11.3	32.8	E	C	建設部会	【重点事業】
	広域幹線道路の整備	一般国道400号塩原バイパス工事整備促進事業	塩原バイパス工事の整備率	%	0.0	82.0	53.0	57.0	C	C	建設部会	
	生活道路の整備	市道東三島512号線道路改良事業	事業進捗率	%	0.0	100.0	—	—	F	F	建設部会	事業一時凍結
	交差点の改良	市道上厚崎馬蹄形線交差点線改良事業	事業進捗率	%	0.0	100.0	100.0	100.0	A	A	建設部会	24年度事業完了
	道路維持管理の充実	道路維持管理事業	維持修繕の依頼件数に対する実施率	%	80	100	85	95	E	B	建設部会	(策定時目標値未設定)
雨水排水対策	河川等の整備	蕪中川11号線準幹線整備事業	雨水準幹線の整備率	%	26.0	41.9	34.4	37.3	C	B	建設部会	
	下水道雨水幹線等の整備	雨水管渠整備事業	雨水幹線整備面積	ha	388.7	468.8	495.3	495.3	A	A	上下水道部会	
効率的な水道の整備	生活排水処理施設の整備	公共下水道管渠整備事業	公共下水道の普及率	%	51.60	53.00	54.30	54.50	A	A	上下水道部会	【重点事業】
		特定環境保全公共下水道管渠整備事業										
	水洗化の普及・促進	水洗化普及促進事業	公共下水道の水洗化率	%	86.70	87.80	88.70	89.30	A	A	上下水道部会	
施設の維持補修	水処理センター施設整備事業	水処理センターの施設更新率	%	13.00	74.80	25.10	31.40	E	E	上下水道部会		

達成状況指標		3箇年 達成数	割合	5箇年 達成見込	割合
A	達成した	9	39.1%	12	54.5%
B	おおむね達成した	3	13.0%	4	18.2%
C	順調に進捗している	3	13.0%	2	9.1%
D	一定の進捗がみられる	2	8.7%	0	0.0%
E	動き始めている	5	21.7%	3	13.6%
F	計画策定時の現状値から動きがなかった	1	4.3%	1	4.5%
(合計)		23		22	

基本政策 5 活力を創出するまちづくり

基本施策	具体的な施策	事業名	目標値	単位	H22年度 (基準値)	H28年度 (目標値)	26年度 (実績値)	28年度 (推計値)	3箇年 達成度	5箇年 達成見込	担当部会	備考
農 業 振 興 の 活 性 化	農業の6次産業化の推進	農観商工連携推進事業	地元農産品を活用した商品 開発数	品目	0	5	1	2	E	D	産業観光 部会	【重点事業】
	魅力ある地域ブランドの創出	那須塩原ブランドPR事業	那須塩原ブランド登録数	品	9	20	14	20	D	A	産業観光 部会	【重点事業】
	地域特有資源の活用	農観商工連携推進事業(再掲)	地元農産品を活用した商品 開発数(再掲)	品	0	5	1	2	E	D	産業観光 部会	
農 林 業 の 振 興	農業を支える担い手・支援者づくり	農業再生協議会活動支援事業	認定農業者数	人	658	710	601	710	F	A	産業観光 部会	
	新規就農者の育成・支援	シルバーファーマー制度推進事業	シルバーファーマー登録者数	人	0	120	115	128	B	A	産業観光 部会	
	農地の効率的利用	農業振興地域整備計画管理事業	農業振興地域における農用 地	ha	8,593	8,090	8,581	8,474	A	A	産業観光 部会	
	農業生産の基盤づくり	県営農村振興総合整備事業	県営農村振興総合整備事業	事業	22	37	30	31	C	C	産業観光 部会	
	安定した農業生産の推進	園芸作物振興事業	夏秋どりいちご作付面積	a	6.8	18.7	29.8	50.0	A	A	産業観光 部会	
	地産地消の推進	おにぎり・バター体験学習事業	実施小学校数	校	14	25	10	21	F	C	産業観光 部会	
	食育の推進	アグリ体験学習支援事業	実施小中学校数	校	25	30	21	21	F	F	産業観光 部会	
	森林資源の安全管理	松くい虫防除事業 有害鳥獣保護管理事業	森林面積	ha	38,515	38,454	38,424	38,412	C	D	産業観光 部会	
	元気な森づくりの推進	元気な森づくり事業	里山林の整備面積	ha	50	189	125	157	C	B	産業観光 部会	
	林道の適正な管理	林道管理事業	市管理林道の本数	本	17	18	17	17	F	F	産業観光 部会	
畜 産 業 の 振 興	自給飼料の確保	自給飼料増産事業	飼料作付面積	ha	2,260	2,410	2,317	2,317	D	D	産業観光 部会	
	家畜の改良・増殖	乳用牛群改良促進支援事業	乳用牛飼養頭数	頭	23,500	25,000	23,926	25,000	E	A	産業観光 部会	
	資源循環型農業の推進	堆肥センター管理運営事業	ふん尿及び生ごみ搬入量	t	11,204	19,470	11,242	12,681	E	E	産業観光 部会	
	作業の効率化・低コスト化	畜産担い手育成総合整備支援事業	酪農家・和牛農家戸数	戸	510	450	449	424	B	C	産業観光 部会	
	畜産振興対策の推進	那須塩原市畜産振興会運営事業	畜産農家戸数	戸	528	465	455	455	B	B	産業観光 部会	
商 業 ・ サ ー ビ ス 業 の 振 興	関係機関との連携	商工会支援事業	市内商工会の経営改善普及 事業指導回数	回	8,540	9,000	4,766	5,000	F	F	産業観光 部会	
	制度融資の充実	中小企業融資事業	制度融資の種類	種類	4	6	5	6	C	A	産業観光 部会	
	商店街の組織(機能)強化	商店街活動支援事業	イベント参加者の満足度	%	—	70	未把握	70	F	A	産業観光 部会	
	商店街の魅力向上	イベント関連団体支援事業	イベント参加者の満足度	%	—	70	未把握	70	F	A	産業観光 部会	
	農観商工連携の推進	農観商工連携活性化アンテナショッ プ運営事業	アンテナショップ来場者数	人	0	6,000	7,819	8,000	A	A	産業観光 部会	
工 業 の 振 興	中小企業の経営基盤への支援	中小企業融資事業(再掲)	中小企業融資制度における 融資件数	件	360	380	471	480	A	A	産業観光 部会	
	企業誘致の推進及び支援	企業立地支援事業	誘致企業の雇用者数	人	2,795	2,845	2,987	3,000	A	A	産業観光 部会	【重点事業】
観 光 の 振 興	受け入れ体制の整備	やすらぎの栃木路共同宣伝事業	外国人宿泊者数	人	5,771	6,000	7,037	8,234	A	A	産業観光 部会	
	観光団体との連携・協働の推進	観光協会運営・支援事業	観光客宿泊数	万人	108.9	110	94.2	97	F	F	産業観光 部会	
	観光情報の発信と提供	観光宣伝事業	観光キャンペーンの実施及 び参加回数	回	8	16	23	23	A	A	産業観光 部会	
	観光施設の整備	観光施設維持管理事業	市観光施設維持管理計画の 修繕進捗率	%	0	100	55	73	C	B	産業観光 部会	
雇 用 ・ 就 労 環 境 の 充 実	就労関係機関との連携強化	那須塩原市版「市内企業(求人)情報 ホームページ」運用	ホームページ掲載企業数	社	0	500	314	325	C	C	産業観光 部会	
	労働環境の充実	中小企業退職金協会加入促進事業	加入促進補助件数	件	71	90	81	90	C	A	産業観光 部会	
	福利厚生事業の充実	勤労青少年ホーム利用者支援事業	勤労青少年ホーム開催講座 数	講座	18	22	19	25	E	A	産業観光 部会	

基本施策	具体的な施策	事業名	目標値	単位	H22年度 (基準値)	H28年度 (目標値)	26年度 (実績値)	28年度 (推計値)	3箇年 達成度	5箇年 達成見込	担当部会	備考
中心市街地の活性化	街なかの賑わい創出	黒磯駅前活性化支援事業	中心市街地でのイベント参加者の満足度	%	—	70	未把握	70	F	A	産業観光部会	
		西那須野地区中心市街地活性化支援事業										
	駅前広場の整備	黒磯駅前広場整備事業	黒磯駅前広場の整備面積	m	0	8,520	0	3,300	F	D	建設部会	【重点事業】
	安全で快適な歩行空間づくり	市道疏通り線整備事業	拠点間歩行者数(1日あたり)	人	760	860	未調査	実施未定	F	F	建設部会	

達成状況指標		3箇年 達成数	割合	5箇年 達成見込	割合
A	達成した	7	20.0%	17	48.6%
B	おおむね達成した	3	8.6%	3	8.6%
C	順調に進捗している	7	20.0%	4	11.4%
D	一定の進捗がみられる	2	5.7%	5	14.3%
E	動き始めている	5	14.3%	1	2.9%
F	計画策定時の現状値から動きがなかった	11	31.4%	5	14.3%
(合計)		35		35	

基本政策 6 豊かな心と文化を育むまちづくり

基本施策	具体的な施策	事業名	目標値	単位	H22年度 (基準値)	H28年度 (目標値)	26年度 (実績値)	28年度 (推計値)	3箇年 達成度	5箇年 達成見込	担当部会	備考
生涯学習の推進	推進体制の充実	生涯学習振興大会開催事業	大会参加者・関係者数	人	570	850	3,800	6,000	A	A	教育部会	
	施設や設備の整備・充実	稲村公民館建設事業	稲村公民館利用者数	人	17,887	40,000	21,638	28,000	E	D	教育部会	24年度事業完了
	相談体制の充実	図書館運営事業	レファレンスサービス数	件	8,664	11,500	11,891	14,000	A	A	教育部会	
	学習成果の活用	学習ボランティア活用事業	学習ボランティア登録数	人	73	130	61	70	F	F	教育部会	
	学習機会の充実	市民大学講座事業	講座参加者数	人	0	1,000	1,827	2,000	A	A	教育部会	
	学習情報の提供	生涯学習情報誌「マナビボックス」発行事業	マナビボックス発行部数	部	34,000	35,000	34,500	34,500	C	C	教育部会	
学校教育の充実	学習教育支援の充実	小学校活動支援事業	高等学校等進学率	%	98.10	98.50	98.50	98.50	A	A	教育部会	
		中学校活動支援事業										
	学校教育指導の充実	小学校hyper-QU推進事業	小学校不登校出現率	%	0.46	0.37	0.41	0.37	C	A	教育部会	
		中学校hyper-QU推進事業	中学校不登校出現率	%	4.72	3.48	4.61	3.48	E	A	教育部会	
	学校施設・設備の整備	小学校耐震改修事業	校舎・体育館などの耐震工事対象棟数	%	0	100	90.7	100.0	B	A	教育部会	【重点事業】
		中学校耐震改修事業										
	学校規模の適正化	学校規模の適正化事業	適正規模校の数	校	35	34	32	31	A	A	教育部会	
小中一貫教育の推進	小中一貫教育校研究推進事業	小中一貫教育校の学校数	校	0	10	2	10	E	A	教育部会	【重点事業】	
幼児教育の充実	幼稚園就園奨励事業	就園奨励費交付対象園児数	人	1,733	1,583	1,702	1,073	E	A	子ども未来部会		
芸術・文化活動の振興	芸術・文化事業の充実	ふるさとの音楽家派遣事業	鑑賞者数	人	1,676	1,700	2,730	2,200	A	A	教育部会	
	団体の育成・強化	文化協会運営支援事業	文化協会会員数	人	1,320	1,500	1,229	1,200	F	F	教育部会	
	芸術・文化環境の充実	黒磯文化会館運営事業	黒磯文化会館自主事業鑑賞者数	人	13,210	15,000	11,072	13,000	F	F	教育部会	
	文化財の保存・活用	文化財保護事業	指定文化財の数	件	162	180	172	175	C	B	教育部会	
生涯スポーツの振興	スポーツ活動団体の育成・支援	市体育協会運営支援事業	体育協会会員数	人	4,640	5,000	3,745	3,800	F	F	教育部会	
	指導者の育成・強化	スポーツ推進委員協議会運営事業	スポーツ推進委員数	人	48	60	46	48	F	F	教育部会	
	スポーツ施設の整備	青木サッカー場施設整備事業	青木サッカー場利用者数	人	1,740	62,000	55,945	70,000	B	A	教育部会	【重点事業】
	学校施設などの有効活用	学校スポーツ施設開放事業	学校開放施設利用者数	人	65,100	68,500	63,918	65,000	F	F	教育部会	
	スポーツイベント等の開催と誘致	那須塩原ハーフマラソン開催支援事業	那須塩原ハーフマラソン参加者数	人	2,500	2,500	3,045	1,700	A	F	教育部会	
青少年の健全育成	推進体制の充実	少年指導員会運営事業	少年指導員会研修参加者数	人	15	45	22	50	E	A	教育部会	
	家庭教育の充実	家庭教育支援事業	家庭教育支援事業参加者数	人	2,386	2,500	2,238	2,300	F	F	教育部会	
	地域ぐるみの取組みの推進	子どもを守る家設置事業	子どもを守る家設置数	軒	1,581	1,630	1,481	1,500	F	F	教育部会	
	青少年活動の支援	成人式開催事業	成人式出席率	%	70.4	75.0	77.0	77.0	A	A	教育部会	
	関係団体への支援	中高生ボランティアサマースクール支援事業(再掲)	ボランティアサマースクール参加者数	人	486	530	335	380	F	F	教育部会	
	健全育成の環境づくり	少年指導員の巡回指導事業	街頭指導件数	件	467	370	117	180	A	A	教育部会	

達成状況指標		3箇年 達成数	割合	5箇年 達成見込	割合
A	達成した	9	32.1%	15	53.6%
B	おおむね達成した	2	7.1%	1	3.6%
C	順調に進捗している	3	10.7%	1	3.6%
D	一定の進捗がみられる	0	0.0%	1	3.6%
E	動き始めている	5	17.9%	0	0.0%
F	計画策定時の現状値から動きがなかった	9	32.1%	10	35.7%
(合計)		28		28	

基本政策 7 創意と協働によるまちづくり

基本施策	具体的な施策	事業名	目標値	単位	H22年度 (基準値)	H28年度 (目標値)	26年度 (実績値)	28年度 (推計値)	3箇年 達成度	5箇年 達成見込	担当部会	備考
市民との協働による地域づくり	広報活動の充実	広報モニター事業	広報なすしおばら紙面の評価	点	66.2	80	74.6	80	C	A	企画部会	
	情報の適切な公開	(主要事業未設定)	(目標値未設定)	—	—	—	—	—	B	B	総務部会	
	市民自ら実践する「魅力ある地域づくり」の推進	車座談議推進事業	車座談議の参加者数	人	4,176	5,000	2,943	—	F	—	企画部会	26年度に市民提案型協働のまちづくり支援事業へ移行
	自治活動の促進	自治振興費補助金交付事業	自治振興費補助金交付団体数の割合	%	90.0	95.0	93.0	93.0	C	C	企画部会	
	市政への提言機会の拡充	市政懇談会の開催	市政懇談会の開催会場数	箇所	8	14	4	4	F	F	企画部会	
	自民が自ら実践する「協働のまちづくり」の推進	市民提案型協働のまちづくり支援事業	支援団体数	団体	0	15	15	15	A	A	企画部会	【重点事業】
	「協働のまちづくり」推進体制の整備	協働のまちづくり推進協議会(仮)設立・運営事業	協働のまちづくり推進協議会への参加者数	人	0	30	28	25	B	B	企画部会	【重点事業】
	市事業への「協働」の導入推進	協働のまちづくり行動計画策定事業	協働のまちづくり行動計画に基づく「協働」による事業実施数	事業	0	20	50	50	A	A	企画部会	【重点事業】
	情報の発信・収集と共有化	協働のまちづくり推進団体登録事業	協働のまちづくり推進団体登録数	団体	0	30	0	0	F	F	企画部会	【重点事業】
	市のイメージアップの推進	イメージアップ推進事業	市民の歌	未制定	制定	制定	制定	制定	A	A	企画部会	【重点事業】
男女共同参画の推進	男女共同参画行動計画の推進	第2次男女共同参画行動計画推進事業	男女の地位が平等になったと感じる市民の割合	%	18.0	23.0	未把握	18.0	F	F	企画部会	
	男女共同参画への意識啓発	男女共同参画広報紙「みいな」発行事業	広報紙「みいな」を知っている人の割合	%	28.9	30.4	未把握	30.6	F	A	企画部会	
	政策・方針決定過程への女性の参画促進	審議会等の男女比率の改善事業	審議会等の委員に占める女性委員の割合	%	20.9	30.0	27.3	33.0	B	A	企画部会	
	人材の育成と団体への支援	各種研修会等への参加支援事業	各種研修会等への参加支援事業回数	回	7	10	8	10	D	A	企画部会	
効率的・効果的な行政運営の推進	計画的な行政経営の推進	(主要事業未設定)	実質公債費比率	%	11.2	11.2	7.0	5.0	A	A	総務部会	
	効率的な事務事業の推進	行政評価システム運用事業	改革・改善の方向性が示された事務事業数	事業	123	960	112	130	F	E	企画部会	25年度に内容見直し
	民間活力の活用	市立保育園の民営化(再掲)	私立認可保育園数	箇所	6	15	10	11	D	C	子ども未来部会	
	効率的な執行体制の確立	定員適正化計画	職員数	人	859	784	795	808	B	C	企画部会 総務部会	(策定時目標値未設定)
	歳入の確保	徴収事務推進事業	市税現年度収納率	%	96.84	97.34	97.67	98.30	A	A	総務部会	
	人材の活用と育成	人事研修推進事業	職員研修延べ受講率	%	46.68	50.00	80.60	82.50	A	A	総務部会	
	行政データ・統計資料の整備と分析	行政データ収集運用事業	行政データ分析数	項目	0	20	14	20	B	A	企画部会	
	時代に即した事業の見直し	行財政改革推進事業	行財政改革推進計画に基づき改革改善する事業数	事業	0	60	60	60	A	A	企画部会	【重点事業】
	広域行政の適正化	定住自立圏推進事業	那須地域定住自立圏共生ビジョンの策定	—	0	策定	検討	策定	E	A	企画部会	(策定時目標値未設定) H27年度策定
地域情報化の推進	市民との情報の共有化	市ホームページ管理運営事業	市ホームページのアクセス数	件	488,892	600,000	573,715	600,000	B	A	企画部会	
	情報の危機管理体制の確立	情報危機管理事業	データの第2次バックアップ体制の確立	—	未実施	一部実施	実施	完了(クラウド化)	A	A	企画部会	
	セキュリティ対策の充実	情報資産管理事業	内部監査実施対象課数(年間)	課	2	12	18	12	A	A	企画部会	
	情報通信基盤の活用	行政手続きオンライン化支援事業	オンライン化を希望する部署に対しての技術的な支援件数	件	0	5	2	4	D	B	企画部会	(策定時目標値未設定)

達成状況指標		3箇年 達成数	割合	5箇年 達成見込	割合
A	達成した	9	33.3%	16	61.5%
B	おおむね達成した	6	22.2%	3	11.5%
C	順調に進捗している	2	7.4%	3	11.5%
D	一定の進捗がみられる	3	11.1%	0	0.0%
E	動き始めている	1	3.7%	1	3.8%
F	計画策定時の現状値から動きがなかった	6	22.2%	3	11.5%
(合計)		27		26	